

KGAGOLFER'S NEWS

関東ゴルフ連盟

関東倶楽部対抗
優勝
袖ヶ浦
カントリークラブ



関東倶楽部対抗特集号

関東女子
倶楽部対抗～報知杯～
優勝
総武
カントリークラブ



別冊
付録

保存版

2012年度関東倶楽部対抗
2012年度関東女子倶楽部対抗～報知杯～

出場全倶楽部 競技成績

フェアウェイは 人間ドラマのステージ

コンベの幹事さんから、初心者夫婦の面倒を見てくれと頼まれた。3人のプレーはスタート直後から、奇妙な雲行きだった。夫は自分のプレーそっちのけで、妻の世話を焼きつ放し。喉が乾いたかとか、脚が痛いかとか。対して妻は従順そのもので、私とキャディーさんは、ただ2人を傍観するだけだった。

プレーが進んで、妻の打ったボールが林に入り「どうすればいいですか?」と聞かれた。安全に横に出すよう助言し、結果は上々だった。そこに夫が駆け寄ってきて……。

「林から打ったの! もしシャフトが木に当たって折れて、キミの首に刺さったら、ボクはもう生きていけないよ!」と夫は真っ青な顔で、シクシク泣き出した。妻は夫婦の危機であるかのように、オロオロするばかり。これは夫婦愛の極致なのか、思い出しでは笑える喜劇なのか。

夫婦とのプレーは遠慮したいが、孫みたいなあの小学生たちとは、もう一度ラウン

ドしたい。

そのゴルフ場は土曜の最終組が出た後、スクールの小学生に開放している。親権者同伴が条件の歩きのプレーだ。仲間に入れてもらうと……。

小学生の姉妹は、マナーも技術もしっかりしている。ただ漫オコンビみたいにも、とてもおしゃべりだ。

「ゴルフが終わったら、温泉に行くの」「いいねー、伊豆か箱根?」「ううん、家の近所の温泉!」

どうやらスーパー銭湯らしい。湯上がりのおとは回転寿司だそうで、姉妹は好物が一致しないので、あれこれと採める。楽しいハーフのラウンドだ。途中で「パパとママは時々、ワタシたちに見えないと思って、チューしているよ」なんて言う。

う。その母親はナイショを娘たちに暴露されているとも知らないで、のんびりついてくる。



やがて終盤になり、姉が少し真面目な顔になる。

「困っていることがあるの。ワタシは毎日忙しい。ピアノ、水泳、英語、それとゴルフ。このコ(妹)はピアノじゃなくて空手。土曜ぐらいのんびりしたいから、ゴルフやめたいの」

母親に、妹のほうがゴルフの才能がある、と言ってくれと頼まれた。

「もう少し続けてみたら。苦手なショットの時に、一番大好きなお寿司を思い出して、トロー! とか声を出して打てばいいよ!」

しばらく姉は考えて、

「それムリよ。ワタシの一番好きなのは、エビマヨノグンカンマキなの」

(匿名希望・本誌愛読者からの投稿)

CONTENTS 関東倶楽部対抗特集号

決勝競技	決勝競技
2 関東倶楽部対抗・男子 (取手国際ゴルフクラブ 東・西コース)	48 関東女子倶楽部対抗～報知杯～ (姉ヶ崎カントリー倶楽部 東コース)
ブロック予選競技	ブロック予選競技
8 新潟第1ブロック(糸魚川カントリークラブ)	54 新潟ブロック(柏崎カントリークラブ 佐渡・米山コース)
10 新潟第2ブロック(米山水源カントリークラブ)	56 長野ブロック(諏訪湖カントリークラブ)
12 長野ブロック(信濃ゴルフ倶楽部)	58 山梨ブロック(甲府国際カントリークラブ)
14 山梨ブロック(春日居ゴルフ倶楽部)	60 群馬ブロック(初穂カントリークラブ)
16 群馬第1ブロック(伊香保国際カンツリークラブ 赤城・榛名コース)	62 栃木ブロック(南摩城カントリークラブ 中・東コース)
18 群馬第2ブロック(赤城ゴルフ倶楽部)	64 茨城ブロック(大利根カントリークラブ 東コース)
20 栃木第1ブロック(新・ユナイテッドゴルフクラブ 皇月・椿コース)	66 埼玉ブロック(日高カントリークラブ 東・西コース)
22 栃木第2ブロック(日光カンツリー倶楽部)	68 千葉ブロック(千葉夷隅ゴルフクラブ 東・西コース)
24 栃木第3ブロック(皆川カントリークラブ)	70 東京ブロック(東京国際ゴルフ倶楽部)
26 茨城第1ブロック(金砂郷カントリークラブ)	72 神奈川ブロック(相模原ゴルフクラブ 西コース)
28 茨城第2ブロック(サ・オーシャンゴルフクラブ)	74 静岡ブロック(浜松シーサイドゴルフクラブ)
30 埼玉第1ブロック(鳩山カントリークラブ)	
32 埼玉第2ブロック(嵐山カントリークラブ)	
34 千葉第1ブロック(船橋カントリー倶楽部)	
36 千葉第2ブロック(木更津ゴルフクラブ)	
38 千葉第3ブロック(藤ヶ谷カントリークラブ)	
40 東京ブロック(青梅ゴルフ倶楽部 東・西コース)	
42 神奈川ブロック(戸塚カントリー倶楽部 東・西コース)	
44 静岡ブロック(浜松シーサイドゴルフクラブ)	

DATA FILE

- 6 男子・優勝倶楽部対談
- 46 男子・予選・決勝競技データ
- 52 女子・優勝倶楽部チーム紹介
- 76 女子・ギャラリー写真ルボ

- 78 トピックス
- 80 From KGA

保存版 別冊付録

2012年度関東倶楽部対抗
2012年度関東女子倶楽部対抗～報知杯～
出場全倶楽部 競技成績



表紙・撮影・塚越克一(KGA広報副委員長)
目次 関東倶楽部対抗・決勝競技開催の取手国際ゴルフクラブ

選手国際ゴルフクラブ
千葉の強さはライバル意識
袖ヶ浦CCの諦めない
気迫の追い込みは見事



関東倶楽部対抗決勝競技は、曇り空にそよとも動かない、加盟倶楽部の旗の下で開催された。

無風ながら肌寒く、選手の多くは揃いのチームウェアを、防寒上着で包んでいる。おそらく最年長出場の加部嗣男は「11年ぶりの決勝競技で、違いといえばウェアがカラフルになったこと。もう一度、私を決勝に連れて行けど、若い仲間の尻を引っ叩きました」と、これまた派手なウェアだった。

定刻の7時30分になって、取手GC東・西コースのアウトとインを、一斉にスタートした。トップ組が前半を終える頃、東のアウト19組の阪田哲男と小林禎一郎が、ティーインググラウンドへと向った。

「監督としての作戦？ そんなものは一切ありませんよ」（袖ヶ浦CC監督の阪田）
「無我の境地と言いますか、チーム戦は



撮影／塚越克一（KGA広報副委員長） 増田収（KGA広報委員）



「個」を捨てて、欲張らないこと」（4位入賞の富士チサンCCの小林）

午後になると風が出てきて、早いスタート組のホールアウトを祝うかのようになり、倶楽部旗が勇壮に翻る。ギャラリートントでもあちこちで、歓声や拍手があがる。話題は競技の展開予想で「昨年優勝の東千葉CCが、独走しそうな勢いだ」と聞こえてくる。

競技成績が発表され、順位が確定した後の談話だが、阪田は昼の時点では優勝を諦めていたと言った。

「Aクラスの2人が想定外の80台で、入賞とまじりかと思っていました」

逆に出遅れを起爆剤にしたのが、Bクラスの水上晃男と柳澤信吾だった。

「状況はどうあれ、自分の目標スコアの66.だけを覚えてプレーしました。達成できて大満足です」（水上）

水上はBクラスの最優秀選手賞を獲得した。柳澤はそれに次ぐ67ストロークでホールアウト。「阪田監督に、よく頑張ったと褒められるかと思ったのですが、言葉はなにもなかったです」

勝因について阪田は「懇親会を重ねて、チームがひとつにまとまっていたからでしょう」と笑う。

昨年は東千葉CCが優勝で、袖ヶ浦CCは3位。一昨年は袖ヶ浦CCが優勝で東千葉CCは2位。千葉県勢の優位が続いている。



決勝競技 入賞倶楽部

平成24年6月25日(月)



2位 扶桑カントリー倶楽部 / 445



3位 東千葉カントリークラブ / 447



4位 富士チサンカントリークラブ / 450



5位 習志野カントリークラブ / 450



優勝 袖ヶ浦カントリークラブ / 440



日本を代表するトップアマ、阪田哲男君。



見事なエースぶりの水上晃男君。

関東の「オリンピック」ともいえる祭典が、関東倶楽部対抗決勝競技だ。しかし1都10県19会場のブロック予選を勝ち上がって、一堂に会するのは今年が最後となる。

今年の各ブロック予選競技には383倶楽部から2876人の代表選手が出場。いずれも過去最多を記録した。発展は喜ばしい反面、運営システ

「決勝競技は、参加することに意義あり」ですが、地区予選競技は顔見知りが多いので、友情の交歓の場です」(某倶楽部の監督)

また、倶楽部間の親睦という側面を忘れてはならない。

ム的には限界がある。来年度からはブロック大会が新設され、決勝競技の出場枠は半分程度と予想される。



KGAの竹田恒正理事長から優勝盾を授与される袖ヶ浦CCの阪田哲男監督。



開催倶楽部、取手国際GCの畑口総理事長。



左から、Aクラス最優秀選手賞の桜井延秋君、Bクラス最優秀選手賞の水上晃男君。ホールインワン達成の小川晃弘君、同じく島本裕之君。



開催倶楽部、取手国際GCの代表選手と関係者の皆様。



「袖ヶ浦CC黄金時代の予感も……」(水上) 「それは早計じゃないかな？」(阪田)

阪田哲男監督VS最優秀選手賞(Bクラス)獲得の水上晃男君 袖ヶ浦CC優勝までの軌跡を総括して

撮影 塚越克一(KGA広報副委員長) 司会 KGA広報委員会

団体戦のパワーは 日頃の個人戦にあり

——平成24年度関東倶楽部対抗決勝戦
技、優勝おめでとうございます。一昨
年に続いて通算4勝ですね。

阪田 袖ヶ浦CCに入会して40年
です。29年前に初優勝した、昭和58年
にも出場していました。今年は途中で優
勝をあきらめ、ベスト10まで外すよう
だと困る、と考えていましたので、喜び
もまた格別です。

祝勝会では「諸先輩方が築かれた、
伝統を守る」と、チームに呼びかけ
ました。理事長からは「上位入賞では
ない」と、よく言われました。



阪田哲男
袖ヶ浦CC監督



水上晃男
袖ヶ浦CC代表選手

勝まであとひとつですから、一試合す
つ大切に戦いたいですね。若い頃は勝
ちたい一心でしたが、今は周囲のプレ

ダメ、次回も優勝を！」との叱咤激励
です。

——団体戦の魅力はどこですか？

阪田 日本代表として世界アマにも14
回出場し、すべての団体競技で優勝す
ることができました。個人競技と違っ
て団体戦は、強い忍耐力が求められま
す。個人競技の成績で団体戦の代表に
選ばれたとなれば、個人戦でもあきら
めずに粘れます。

水上 私は団体戦が大嫌いで、叩いた
らどうしようとの不安で、本来のゴル
フができなかつたのです。阪田監督に
は「団体戦が嫌いなやつは倶楽部対抗
に出さない」と、よく言われました。

転機は一昨年の千葉国体(第65回ゆ
め半島千葉国民体育大会)でした。選
手兼監督として出場し、前夜は一睡も
できませんでした。阪田監督に「プラ
スハンデいなり(水上氏は袖ヶ浦CC
のプラス3)、普段のゴルフをすれば、

叩いた分を凹ますことができる」と言
われて勇気づき、全国制覇を達成でき
ました。

——今回の袖ヶ浦CCの戦いぶり
いかがでしたか？

阪田 今年の倶楽部対抗は水上君と柳
澤信吾君の活躍が勝因でしたが、2人
とも自分のベストを尽くしただけで、
別に褒め言葉はありませんよ。(笑)

水上 予選競技のベストスコア賞に続
いて、決勝競技では最優秀選手賞を獲
得。45歳にして、自分のゴルフが進歩
した手応えがあります。調子の悪い時
こそ粘れるんです。

袖ヶ浦CCの強さは 阪田監督のカリスマ性に？

——代表選手の選考基準は？

阪田 代表選手の選考は、監督の私に
一任されています。研修会の12人の身
柄を預かって。

水上 他の倶楽部は研修会などの数値
を基に、民主的に代表選手を決めるの
でしょう。袖ヶ浦CCは違います。阪
田監督は平均スコアに加えて、個人の
対外試合の結果を重視します。

ヤーに、私の存在感をお見せしたい。

——水上さんの、競技者としての心構
えはいかがですか？

水上 これまでKGA主催競技で2位
以下の記録は数え切れないほどありま
す。今年の関東アマは結果的に4位タ
イに終つて、またも学生ゴルフ(堀
川未来夢君・日大)の優勝となりました。

45歳のキャリアで勝ちたいとなりま

すと、4日間競技を戦い抜く体調の管
理、練習、バットの精度の向上など、勝
つために必要なことを、日々追い求め
なくてはなりません。

阪田 私の若い頃は、学生は社会人に
歯が立たなかつたものです。今は逆で
すね。

——最後に、関東倶楽部対抗に出場す
る全倶楽部、全代表選手へのエールを
お願いします。



阪田 60台を出した直後に80台を叩け
ば、倶楽部対抗の代表には選びません。
アマチュアにとって、競技で70台を維持
するのは大変な努力ですよ。

水上 チーム全員が阪田監督を信頼し
切っていますから、独断での選考にも
異議は出ません。選ばれるには、日頃
の努力を重ねるのみです。

——一昨年の優勝倶楽部アンケートで
は大半の人が、尊敬するゴルフア
ーに「阪田哲男」を挙げていました。

水上 社交辞令もありますよ。(笑)
——阪田さんの、競技者としての心構
えは？

阪田 何歳になろうと、日本アマ制覇
が目標です。また自身の公式戦100

阪田 同じ千葉県の倶楽部には、負け
たくないというライバル意識はありま
す。ただし倶楽部対抗は関東のフレ
ンドリーマッチでもありますから、余計
なプレッシャーを感じないで、競技ゴル
フを楽しむことが第一です。

水上 袖ヶ浦CCチームはAクラス
(55歳以上)が弱いなどと言われます
が、あと2年でBクラスから、Aクラ
スに編入する有力選手が多くいます。
Bクラスの層の厚さも、他倶楽部に負
けません。

あえて自画自賛で申し上げれば
。袖ヶ浦CC黄金時代の、到来を予感
させます。どうぞ皆さん、来年度の決
勝競技、総武CCでお会いしましょう。

阪田 そこまで言い切つていいの？
水上 阪田さんが、75歳までがんばっ
てくれればの前提ですよ。(笑)



袖ヶ浦CC袖ヶ浦コースの練習環境も強さの秘密？



新潟第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月23日(水)



1位 糸魚川カントリークラブ / 475



2位 十日町カントリークラブ / 484



3位 柏崎黒姫カントリー倶楽部 / 484



糸魚川CCの永野敏郎理事長。 大会会長の齋藤文志郎KGA常務理事。



スタートが迫り緊張はピークに。



早くもスコアボードの前に人影。



KGA競技委員もフル回転。

昨年夏から整備に着手しご満足いただける仕上がりに

**糸魚川CC
岩崎勝徳グリーンキーパー**

平成2年の開場前から勤務し、雪には慣れていますが今年の積雪は異常でした。それでもベントグリーンは良好で、競技当日は速さを抑えるほど。会員の代表選手はそれに慣れ、好結果だったのかも。コース全体は庭園風の落ち着いた雰囲気です。年に1回の来場者にもご満足いただけるよう、日々の整備は万全を心掛けます。

担当委員長のご挨拶、ならびに成績発表に各倶楽部選手団が一喜一憂、和やかに表彰式を終了することができました。(糸魚川CC支配人・室川力)



表彰式は「越後の絆」で盛り上がる。



グリーンセンターを狙え！
チームワークで
決勝進出を目指そう。

糸魚川CCの猪股英人キャプテンを胸上げ。

平成11年以来13年ぶり、2回目の関東倶楽部対抗新潟予選会場となりました。前回大会では明け方からの雷雨により、競技延期となりそうな天候であり、今大会をお引き受けした時その時の記憶がよぎりました。

また今年は昨年にも増して大雪に見舞われ、4月1日の通常オープンが4月20日過ぎに延びました。大会当日までにベストなコンディションで、選手をお迎えできるか心配しておりましたが、コース管理を先頭に従業員懸命な作業により、若干芝の生育が遅れたものの、大会を無事迎えることができました。

当日は曇りのち晴れ、気温20度前後と清々しい天候に恵まれました。風は午前中微風、午後から若干強めになり、スコアに影響を与えたようです。

グリーンの速さは約11秒、そして選手を苦しめたのがグリーンの硬さでした。コンパクション14と非常に硬く仕上がったグリーンは、フェアウェイからキッチリ打たないと止まらず、当日の朝に予定していた、グリーンの転圧を中止したほどでした。

結果、全長6526坪と短めのコースですが、70台を出した選手が24名と少なく、選手全体の平均ストロークが85.4と、スコアをまとめ切れない選手が続出。優勝させていただいた当倶楽部は70台が2名で、他の選手は80前半でのプレー。

地の利もあり、結果、2位の十日町CCに9打差をつけた勝利となりました。

糸魚川CCの猪股キャプテンは日頃から「グリーンセンター狙い」を選手に求め、実行したことが勝利に繋がった。チームワークの勝利」とコメントしております。

戦いを終えた表彰式会場は、倶楽部対抗ならではの雰囲気の中、豊泉競技



新潟

第1ブロック

糸魚川カントリー倶楽部
記録的な豪雪に克ち
ベストなコース整備で開幕



新潟第2ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月25日(金)



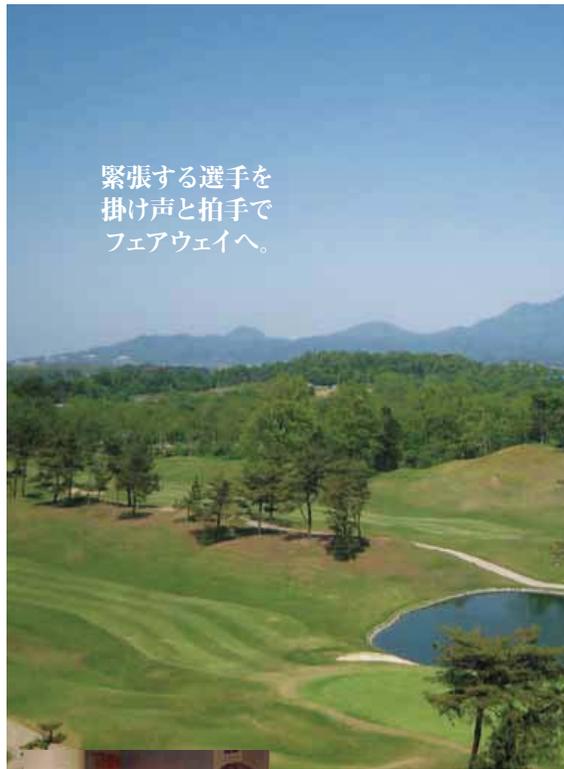
1位 日本海カントリークラブ / 474



2位 石地シーサイドカントリークラブ / 475



3位 米山水源カントリークラブ / 477



緊張する選手を
掛け声と拍手で
フェアウェイへ。



米山水源CC理事長の杉本英世プロ(右)と談笑する豊泉幸夫競技担当委員長。



新潟
第2ブロック

米山水源カントリークラブ 地元期待の拍手と歓声 1打の重みを背負い入賞!

不安を抱えながら準備に準備を重ね、当日の朝を迎えました。挨拶に始まり挨拶に終わるを常に心掛け、スタッフも笑顔で選手や応援団をお迎えます。少し緊張気味の選手の皆様からも、笑顔の返礼をいただきひと安心。

そしてスタートでは応援団、ギャラリーの皆様が、緊張気味の選手を掛け声と拍手でフェアウェイに送り出します。ランチタイムも倶楽部対抗ならではの光景で、女性陣を交えての賑やかな応援が繰り返されました。

午後からは小雨のち雨となっていましたでしたが、終盤に向かうにつれ白熱した戦いとなり、最終ホールでは開いた傘の花の中から、拍手と歓声が最終組のホールアウトまで続きました。

決勝進出をかけた争いは終盤まで接戦となり、地元開催のプレッシャーを背負った当倶楽部の選手は、古澤一義研修会会長の「最終ホール最終バットまで1打を大事に。それがチーム戦」の言葉を胸に刻み、コースに挑み、自分と闘い、決勝進出を決めました。

初開催の当倶楽部に近隣の5倶楽部からは練習日、大会当日のキャディーの応援をいただき、誠にありがとうございました。我々スタッフも特別な一日を経験し、少しホッと、また大きな自信を得ました。

(米山水源CC副支配人・小山一登)



開催倶楽部の選手と従業員総出でお見送り。最後は玄関で選手が首頭を取り、万歳三唱でフィナーレ。



左から、米山水源CCの古澤一義競技委員長、Aクラスベストスコア賞の田村敬明君、同じくBクラスの宮沢重夫君。



「長引いた冬、支配人以下従業員総出で、3月は連日スノーダンプでフェアウェイ・グリーンへの排雪作業に明け暮れ、4月に入りようやく本格的なコースメンテナンスに取り掛かり、大会を迎えました」(管理スタッフ)



長野ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月24日(木)



1位 長野カントリークラブ / 491



2位 塩嶺カントリークラブ / 494



3位 上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部 / 494



4位 佐久平カントリークラブ / 497



高原の陽光が選手を祝福。

競技委員の説明に緊張のスタート。



順位予想を巡って、皆様が評論家風に。



信濃GCの小山和夫競技委員。



ホールロケーションの妙。
難グリーン攻略に
苦戦の選手たち。

今年は何年になく雪が多く、春先の気温も上がりず雪解けが遅れ、KGA競技委員によるコース下見打合せを、予定より10日ほど延期していた状況でした。

5月に入り一気に気温も上がり、コース内が緑をおびてはきましたが、水はけの悪い箇所や日影部分の、特にグリーン周りは芝が生え揃わず、選手の皆様にはご迷惑をお掛けいたしました。指定練習日には大勢の選手や、倶楽部関係者の皆様にご来場いただきました。

大会当日は好天に恵まれ、絶好の競技日和となりました。7時30分からスタートしましたが、難しいホールロケーションの数ホールでは、グリーン上で時間がかり2〜3組待ちとなり、最終組がアテストを終了したのは、夕方5時少し前になってしまいました。

開場15年目に初めて、倶楽部対抗を開催することとなった当倶楽部に対し、ご指導いただいたKGA関係者の皆様、また参加各倶楽部の関係者の皆様には、心より感謝いたします。

(信濃GC取締役支配人・綿貫晴夫)

長野
ブロック

信濃ゴルフ倶楽部

絶好の競技日和に
上位を巡って白熱の大激戦



開催倶楽部、信濃GCの代表選手の皆様。



山梨ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月24日(木)



1位 昇仙峡カントリークラブ / 459



2位 甲斐駒カントリークラブ / 466



3位 春日居ゴルフ倶楽部 / 466



Aクラスベストスコア
賞の五味俊彦君。



Bクラスベストスコア
賞の阿藤晋一郎君。



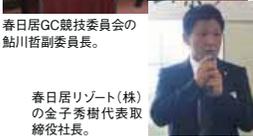
Bクラスベストスコア
賞の長澤裕君。



大会会長の志村和也KGA常務理事から昇仙峡CCの仲村清和キャプテンに賞品の授与。



春日居GC競技委員会の
鮎川哲副委員長。



春日居リゾート(株)
の金子秀樹代表取
締役社長。



最終選手の結果次第の混戦
ファイナーレは感動の頂点

9th
18th



競技会場点描。緊迫の中にも和みがある。

会へ報告すること」を徹底しました。その準備として、グループコース(都留CC、甲斐ヒルズCC)のキャディーに、昨年から研修をしてみました。朝食の準備や表彰式運営については、レストラン従業員を中心に「スムーズな流れを作ること」を念頭に置き、数回打ち合わせを行いました。また交通集中が予想されたことから、進入路の見通しが悪い箇所に誘導員を朝・夕派遣し、不測の事態を絶対に発生させない準備を、徹底して行いました。結果、すべての競技は無事に終了し、プレーヤーに対して最低限のお返しはできたと確信しており、倶楽部従業員も自信がつかと思います。表彰式後から解散時は本当に良い雰

囲気が生まれ、参加倶楽部全員そして従業員全員が、ゴルフを通してひとつになれたような、最高の大会となりました。この大会はアマチュアゴルファーのために絶対に必要であり、ゴルフを通じた地域内の交流に、欠かせない行事であると痛感いたしました。(春日居GC代表取締役社長・金子秀樹)



山梨
ブロック
春日居ゴルフ倶楽部
事前に設定した努力目標を
完遂した喜びに胸熱く……

当コースの特性はアンジュレーションの大きいグリーンで、当日のホールロケーションにより攻めないと、スコアを伸ばせません。精神的にタフな戦いとなり、総合的なスコアでは、飛距離よりも正確性を持つ、Aクラス選手の健闘が光りました。競技開催にあたり、当倶楽部の努力目標を設定しました。

- 1 / 年1回の非常に重要な大会である認識を常に持ち、公正で平等な対応。
- 2 / 競技中は軽率な判断をせず、プレー時間よりも厳正な競技の成立を心がける。
- 3 / 朝食から表彰式までのスムーズな進行。

この3点を軸に運営しました。練習ラウンドから当日まで、全倶楽部に公正で平等に対応し、大会当日の(ハウス)キャディー配置についても、絶対に偏らないよう配慮しました。「参加選手は1年間の成果を発揮するため、本当に真剣に取り組んでいる」ことを全従業員で認識し「競技中の半信半疑の判断は絶対にせず、速やかに競技委員





群馬第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月24日(木)



1位 赤城国際カントリークラブ / 470



2位 レーサムゴルフ&スパリゾート / 473



3位の緑野カントリークラブ。



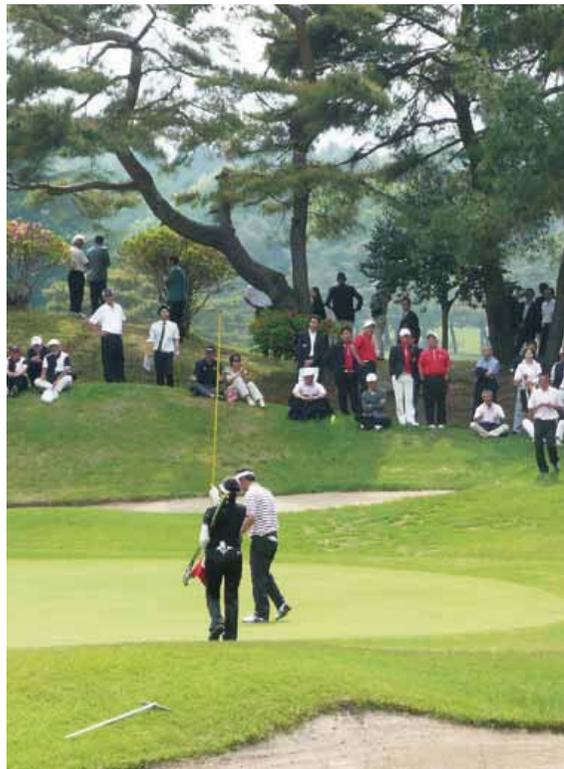
伊香保国際CCの齋藤照理事長。



開催倶楽部、伊香保国際CCの代表選手と関係者の皆様。



右・伊香保国際CCの
設案理事と左・同競技
委員の津久井さん。



8年ぶりの決勝進出は
善戦およばず
無念の涙……。



群馬 第1ブロック
伊香保国際カンツリークラブ
赤城・榛名コース
選手各位からお褒めの言葉
榛名山の眺望も舞台演出に

が無事終了できましたことにつき、大会運営にご尽力いただいた三浦競技担当委員長はじめ競技委員の皆様、ならびに各倶楽部関係者の皆様には深く感謝申し上げます。開催倶楽部のお礼の言葉とさせていただきます。

(伊香保国際CC取締役支配人國武正史)



伊香保国際CCの國武正史支配人と女性スタッフ。

競技では地元開催であり、8年ぶりの決勝進出を目指した当倶楽部でしたが、結果は4位となり無念の涙を飲むことになってしまいました。

今後もこのような大会の開催が相応しい倶楽部であるよう、努力を続けていく所存であります。また今回の開催

競技当日は朝から良好な天気、気温も25度を超える絶好のゴルフコンディションの中、群馬第1ブロック予選競技は開催されました。

練習ラウンドでは和気あいあいとしていた各倶楽部の選手も、当日は緊張感からかピリピリとした空気が漂っているように感じられました。各倶楽部からの声援の中、午前7時30分の定刻に第1組がスタートし、競技が開始されました。

当倶楽部での関東倶楽部対抗予選競技は、平成6年以来18年ぶりの開催となり、前回開催時のことを知るスタッフは、現在では私とコース管理の数名が初めての経験となった状況下でしたが、運営面ではKGA競技委員のご指導をいただき、コース整備はキーパーを中心に、選手が満足していただけるコンディション作りを務めた結果、競技出場選手や各倶楽部関係者の皆様からお褒めの言葉をいただき、ホッと胸をなでおろした次第であります。

競技では地元開催であり、8年ぶりの決勝進出を目指した当倶楽部でしたが、結果は4位となり無念の涙を飲むことになってしまいました。

今後もこのような大会の開催が相応しい倶楽部であるよう、努力を続けていく所存であります。また今回の開催



群馬第2ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月25日(金)



1位 藤岡ゴルフクラブ / 458



2位 太田双葉カントリークラブ / 459



右、Aクラスのベストスコア賞の横山恵造君。
左、同じくBクラスは飯塚祐一君が獲得。



赤城GCの高山昇理事長。大会会長の貫井忠彦KGA常務理事。



表彰式パーティーは地区大会ならではの、地元の情報交歓の場。



快晴から一転して霧、雨……。遅いスタートは大変。



見事に整備されたグリーン。



次回こそ！
開催倶楽部の重圧が
結果は7位に終る。



開催倶楽部、赤城GCの代表選手と関係者の皆様。



出場倶楽部応援団のために、ギャラリープラザを設置。

群馬

第2ブロック

赤城ゴルフ倶楽部

霧の中断は30分で雲散霧消
雨の激戦となるも……

大会当日は快晴の中、選手の皆様
にスタートしていただき、午前中のグ
リーンコンディションは、スピード10
5は、コンバクションIIをお楽しみ
いただきながら、競技が進行して行きま
した。
午後に入りますと14時30分頃より霧
が発生して、一時中断するという天候
になりました。その後、30分で霧は晴

れ、競技を再開しましたが雨が残り、
後半スタートの選手にとっては、大変
なコンディションの中でのプレーとなり
ました。
中断はありましたが、無事128名
にホールアウトしていただき、全員の
スコアを成績表に記入して、16時30分
に終了致しました。
(赤城GC支配人・福島誠)



栃木第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月24日(木)



1位 芳賀カントリークラブ / 463



2位 那須チサンカントリークラブ / 466



3位 ディアレイクカントリー倶楽部 / 468



スコアボードの数字を巡って人間ドラマも。



スタートでは勝が震えるという選手も。



ピクニック気分だが、応援は気合い十分。



自分のベストを尽くし、天命を待つ。



代表選手同士の戦い
お互いのプレーに
敬意を表して……。

栃木

第1ブロック

新・ユーアイゴルフクラブ
五月晴れの空に響く打球音
競技のノウハウは今後の糧

当倶楽部では十数年ぶりの、関東倶楽部対抗栃木ブロック予選会場となりました。無事に運営できるかと大きなプレッシャーを感じつつ、皆様からのご協力をいただきながら、準備を進めてきました。

大会当日は朝から天候に恵まれ、好コンディションとなり、選手の方々もリラックスした雰囲気での競技が始まりました。応援団の方々も朝早くから来場され、選手を気遣い、熱気ある声援を送っていました。

我々の心配をよそに大会は順調に進み、成績掲示板にスコアを記入される度、大勢の方が一喜一憂されていました。当倶楽部は予選通過はなりませんでしたが、決勝に進出された3倶楽部には決勝大会での健闘をお祈り致します。

大会を通じて、いろいろなことを勉強させていただきました。大きなトラブルもなく進行し、無事終えることができた事が成功につながったと思います。この経験を活かし、ご来場のお客様にベストなコンディションを提供し、ご満足いただけるようスタッフ一同させていただきます。

最後に、渡辺競技担当委員長をはじめ、関東ゴルフ連盟関係者および各倶楽部の関係者の方々のご指導、ご協力により無事大会を終えることができました。

大会を支えていただきましたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

(新・ユーアイG C管理部統括マネージャー) 倶楽部対抗競技担当 関義史)



開催倶楽部、新・ユーアイGの代表選手と関係者の皆様。



表彰式では全倶楽部揃っての歓談。



栃木第2ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月22日(火)



1位 サンヒルズカントリークラブ / 495



2位 鹿沼カントリー倶楽部 / 497



3位 鷹ゴルフ倶楽部 / 498



男体山に5月の雪
30年ぶりの決勝は
4打及ばず。



開催倶楽部、日光CCの代表選手と関係者の皆様。

栃木

第2ブロック

日光カントリー倶楽部

41年ぶりの開催に向けて
会員とスタッフ一丸となる

当倶楽部で関東倶楽部対抗が開催されるのは、昭和46年以来41年ぶりとなります。当時は現在のように県単位での予選競技ではなく、関東を3ブロックに分けての競技でした。当倶楽部といたしましては、開催が決定すると同時に、各倶楽部の代表選手を最高のおもてなしでお迎えしようと、会員、従業員一丸となり準備してまいりました。しかし今年の長く厳しい冬、5月に入っても男体山に雪が降り、異常気象により芝の芽吹きも遅く、ラフなど一度も芝刈りをするこどもできない状況で、満足いただけるコースコンディションではなかったかと存じます。

競技当日、7時30分のスタート時には青空が見えていましたが、9時頃より小雨が降り出しました。と同時に気温も下がりはじめ、13度と肌寒さを通り越し、寒い一日となってしまいました。しかしこの時期、気温の上昇による熱雷の心配はありませんでした。各倶楽部の応援席は雨の予報に備え、テントで対応。寒さもなんのその、熱く

燃えていました。

競技のほうは全長6958ヤード、そこに雨という悪コンディションの中で、スコアはいまいち伸びなかったようです。当倶楽部も地の利を活かし、30年ぶりの決勝を目指すも、4ストローク及ばず、惜しくも4位で決勝進出を果たすことができませんでした。とはいえ地元開催が無事終了し、玄関でお見送りする当倶楽部の各選手には、悔しさの中にも安堵の表情が見られました。

このように今大会が、無事終了できましたのは、三浦競技担当委員長をはじめとするKGA競技委員の方々のご指導、当倶楽部の運営委員会のご協力とお陰と感謝申し上げます。まことにありがとうございました。(日光CC支配人・若林梅夫)



上、大会会長の篠崎勝宏 KGA常務理事。下、日光CCの高橋利之理事長。



Aクラスのベストスコア賞は開催倶楽部、日光CCの若林新平君。



Bクラスのベストスコア賞は半田裕一君。



栃木第3ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月25日(金)



1位 車月ゴルフ倶楽部佐野コース/457



2位 鹿沼72カントリークラブ/460



3位 宇都宮カントリークラブ/469



スコアボードの前には多くの観衆。



右、皆川城CCの川鍋大二競技委員長。
左、鈴木淳KGA競技担当委員長。

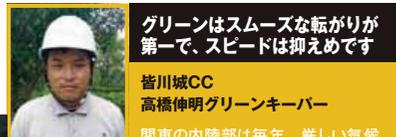
大会会長の
中島篤志KGA理事。



KGA競技委員の皆様。



皆川城CCの
林務理事長。



グリーンはスムーズな転がりが第一で、スピードは抑えめです

**皆川城CC
高橋伸明グリーンキーパー**

関東の内陸部は毎年、厳しい気候が続きます。近隣コースも状況は同じですが、きめ細かいコース整備が欠かせません。計画的に実施して良い結果を得られるのが、キーパーとしての生き甲斐です。特に注意しているのはコースの美観。ラフの境界ライン、池周り、バンカーのトリミングなどで、見た目が大きく変わります。努力と研究の日々です。



前年は震災で自粛
2年越しの思いを結集し
大健闘の展開。



栃木

第3ブロック

皆川城カントリークラブ

**手探り状態の設営準備も
開始後は白熱戦に歓喜の声**

当倶楽部では過去に一度、同予選競技を開催した実績はありましたが、当時を経験している従業員は皆無であり、まさに手探り状態のスタートとなりましたが、関係者の皆様に支えられ、なんとか当日を迎えることができました。

当日は朝から曇り空で、今にも雨が降り出しそうな中、17倶楽部136名が定刻にスタートされました。そして昼前からは、懸念していた雨が……。しかしプレーに影響するほどではなく、競技は進行して行きます。13時頃よりキヤデミーマスター室前に設けたスコアボードに、選手のスコアが記載され始めると、いたるところより歓喜の声が上がります。大会のボルテージが高まっていきます。

そして我が皆川城チームは昨年の同大会を東日本大震災の影響により参加を自粛した経緯もあり、2年越しの思いを本大会にぶつける健闘で、途中までは上位争いを演じました。最終的には予選通過ラインに、5打足りない7位の成績に終わりましたが、選手の皆様、お疲れ様でした。

なお当日は大きなトラブルもなく、無事終了致しました。これも数か月前より従業員が一丸となり、準備を進めた成果だと感謝しております。また本競技開催に際し、絶大なご協力を頂

いたKGA競技委員の皆様はじめ関係者各位、ならびに大会を盛り上げていただいた選手の皆様、そしてサポート

していただいた皆川城CCの会員の皆様に、心より御礼申し上げます。
(皆川城CC支配人・三好浩之)



表彰式パーティーは和気あいあい。



大健闘の皆川城CCの代表選手と関係者の皆様。



開催倶楽部、皆川城CCの会員の皆様。



茨城第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月21日(月)



1位 扶桑カントリー倶楽部 / 457



2位 水戸グリーンカントリークラブ / 458



3位 カントリークラブ・ザ・レイクス / 467



パーティールールはサンドイッチ、8種盛り(枝豆・イカ焼き・煮物など)、揚げ物盛り合わせ、サーモンサラダ、デザート盛り合わせ(フルーツ・ロールケーキ)。



優勝の扶桑CCにペナントの授与。



ホールインワンを達成した才記正明君。



団体戦のスタートは、特に緊張。



大会会長の田熊典敏 KGA理事。



左から金砂郷CC運営委員の川崎正之さん、山本善善労理事長、金砂郷CC運営委員の本田隆志さん



開催側は接待に大忙し
これもまた地域の
親睦競技の楽しみ。

茨城

第1ブロック

金砂郷カントリークラブ

絶好のゴルフ日和
開始時に金環日食の神秘も



競技当日は世紀の天体ショー金環日食が7時30分頃より始まり、観測用グラスを事前に用意し、配布されている倶楽部もあり会場のあちこちから歓声上がる幕開けとなりました。残念ながら当倶楽部は、前日からの会場設営、当日駐車場整理、ギャラリートレーナー等々のホストクラブとしての準備、

運営、接待に追われ世紀の天体ショーに歓喜するどころか、自コースチームの応援もままならないほどではありませんが、運営委員、競技委員、研修会のメンバーをはじめ、会員の皆様のボランティア精神あふれるご協力もあり開催ができたことを心よりお礼申し上げます。



開催倶楽部、金砂郷CCの代表選手と関係者の皆様。

また無事に競技を終えることができ、経験豊富なKGA競技委員の皆様のご支援に深く感謝いたします。当倶楽部チームは残念ながら、上位入賞には至りませんでした。それでも代表選手角井は、ホームコースでの大きな声援を受けて、堂々たる戦いぶりでした。ホストコースとしての役割を終え、来年度競技開催の成功を祈念するとともに、来年は今年の方まで、自コースチームの応援をしたいと思います。
(金砂郷CC支配人・高柿静)





茨城第2ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月22日(火)



1位 富士カントリー笠間倶楽部 / 470



2位 水戸・ゴルフ・クラブ / 498



3位 江戸崎カントリー倶楽部 / 507



朝食はホテル併設の広いレストランで。



ホールアウトする選手を雨中で応援。



急遽の初出場は
健闘及ばず
次回こそ！

5月22日開催の関東倶楽部対抗予選、茨城県第2ブロックの会場に決定し、急遽出場チームを結成しました。当倶楽部の塚原理事長からは「出場する以上は完走！万が一にも失格者を出して、チームとして失格することがないように」と申し渡されました。倶楽部の月例競技では、スタート前にマーカー指名でスコアカードを配布するなど、考えられることをすべて選手たちにも知らせ、練習ラウンドも幾度も行いました。練習ラウンドを数回重ねていくうちに、選手たちも競技に対する意気が揚がったものの、Bクラスはともかくとして、Aクラスの実力不足はいかんともしがたく、残念な結果となってしまいました。やはり初出場の壁は厚かったようです。全員が予想スコアを下回り、最下位となってしまいました。



ず、残念な結果でした。キャディーさんを派遣していただいた倶楽部に、厚く御礼申し上げます。そんな悪条件にもかかわらず、文句も言わずプレーに専念された選手の皆様には感謝、感謝。厚く御礼申し上げます。(ザ・オーシャンGC取締役支配人・平山誠一)

開催倶楽部、ザ・オーシャンGCの代表選手と関係者の皆様。

茨城

第2ブロック

ザ・オーシャンゴルフクラブ
太平洋を一望する絶景を
降雨で提供できず残念



スコア確認はベテラン選手でも緊張する。



スコアボードの前も傘の花。





埼玉第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月21日(月)



1位 日高カントリークラブ / 469



2位 寄居カントリークラブ / 472



3位 川越カントリークラブ / 478



鳩山CCの梁瀬正晴キャプテン。 大会会長の高橋正孝KGA副理事長。



勝つことの素晴らしさと
チーム団結の素晴らしさ
これぞ倶楽部対抗!



礼に始まり礼に終わる。



ギャラリテントは野外パーティーの賑わい。



主催：関東ゴルフ連盟
開催倶楽部、鳩山CCの代表選手と関係者の皆様。

埼玉 第1ブロック 鳩山カントリークラブ 選手に最高の舞台をと コース管理スタッフ大奮闘

「鳩山CCは全体的に、短いセッティングとします」と豊泉競技担当委員長よりお話をいただいた時には、当コースは長いのが一つの売りなのに……と思いましたが、しかし委員長より「競技当日朝には金環日食があり、スタート時間を8時にせざるを得ない」と告げられ納得しました。これが当倶楽部での、倶楽部対抗競技開催への幕開けでした。

2年前には女子倶楽部対抗予選競技をお受けした経験があるため、キャプテン会議を含め、運営準備は比較的にスムーズに取り組めたと思います。

試合当日を迎えるまで、一番大変だったのはやはりグリーンキーパーを筆頭に、コース管理スタッフだったのではないのでしょうか。倶楽部対抗は対外的な試合であり、他倶楽部のメンバー様が多数出場されるため、いつも以上にコース管理に力が入ります。

これが倶楽部対抗競技をお受けする、大きな意義であると思います。暗いうちからのブラシ掛け。感心を通り越し、心配になるくらいグリーン管理。身内ながら改めて、お礼を言いたいと思います。



見事な金環日食。

いよいよ競技当日。午前4時出勤でも緊張感からか、まったく眠くありません。受付も始まり続々と選手・ギャラリーが来場し、各選手の気合いが痛いほど伝わってきます。

スタート時間が近づくにつれ、選手ひとり一人から緊張感が伝わり始め、そしていよいよスタート。選手名のコールとともに大きな拍手、歓声。これこそが各倶楽部がひとつになる、倶楽部対抗競技の姿です。ホールアウト後、スコアボードを真剣に見入る選手とギャラリーの皆様、最後まで熱戦をマナー良く見守っていただき、ありがとうございました。

最後に、記念すべき金環日食の日に競技を開催させていただきましたことを誇りに思っています。

(鳩山CC支配人・真下浩)



ホールアウトの感動こそ倶楽部対抗の真骨頂。



埼玉第2ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月28日(月)



1位 岡部チサンカントリークラブ / 468



2位 嵐山カントリークラブ / 472



3位 高坂カントリークラブ / 478



個人戦ならスコア確認で一段落だが、団体戦は最後まで結果がわからない。



よるプレー中断があったものの、本大会が無事、成功裡に終了できましたことは、関東ゴルフ連盟競技委員各位、参加倶楽部の選手および関係者各位の、ご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。
(嵐山CC取締役総務部長・鈴木光義)



開催倶楽部の面目を
練習に励んだ結果が
50周年に華を添える。



埼玉 第2ブロック 嵐山カントリークラブ 開場50周年の記念事業 一時の雷鳴も祝砲がわりに

本年10月、開場50周年を迎える記念すべき年、当倶楽部において関東倶楽部対抗埼玉第2ブロック予選競技が、平成5年以來19年ぶりに開催されました。開催にあたり、選手、関係者の皆様にご満足いただけるよう、また50周年記念事業の一環として、倶楽部・会社をあげて準備に取り組んで参りました。
当日は朝から晴天に恵まれましたが、午後から雷と突然の雨が降るとの予報もあり、雷雲情報を睨みながら、なんとかプレー終了まで、晴天が続いて欲しいと祈っておりました。しかしながら昼前から雲が発生し、午後1時頃には冷たい北風が吹き始めたため、雷発生が近いと考え、竹村競技担当委員長に待機をお願いしました。午後1時20分頃には雷鳴が接近したため、25分にプレー中断となりました。
激しい雷雨となりましたが、選手ギヤラリの皆様は整然と無事に避難され、天候が回復した午後2時25分にプレーを再開、熱戦が繰り広げられました。
当倶楽部は開催コースの面目を向け、好成績での予選通過を目指して、選手一同が練習に励んで参りました。その結果、2位通過の成績を収めることができ、開場50周年に華を添えることとなり、倶楽部関係者一同安堵致しました。
今回は21倶楽部の参加と多数のギヤラリーにもご来場をいただき、雷雨に



開催倶楽部は礼を尽くし、揃ってゲストを見送り。



千葉第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月22日(火)



1位 総武カントリークラブ / 467



2位 習志野カントリークラブ / 481



3位 我孫子ゴルフ倶楽部 / 499

Aクラスのベストスコア賞は白井敏夫君(右)、Bクラスのベストスコア賞は杉山稔君が獲得。



朝の練習からチーム一丸で。



乾杯の音頭を取る船橋CCの鮫島恒男競技担当委員長(左)と渡辺章KGA競技担当委員長。刻々変るスコアボードのデータ。



船橋CCの食堂には、山下清画伯のモザイクタイル画が飾られている。

**自然の力を生かすコース管理
グリーンの芝は健康そのものです**

**船橋CC
浦野由利雄ヘッドグリーンキーパー**

開場50年になりますが、造成時にブルで大きく削ったり、広範囲に盛り土をしなかったせいか、植物も自然に馴染んで生育します。四季折々、雑木林の落葉は500立方メートル以上ですが、すべて堆肥にして還元します。グリーンは速・硬・狭が売り物です。競技当日は雨の予報もありましたので、速・硬に関しましては控えめに設定しました。





会員ボランティアが大活躍
雨にもめげず
緑の下の力持ちに。



運営スタッフと船橋CC会員の皆様。

船橋CCチームの大屋総監督(右)。船橋CCの白井発理理事長。

千葉

第1ブロック

船橋カントリー倶楽部

関東きつての激戦区は
悪天候の下でも華麗な戦い

千葉第1ブロック予選競技が当倶楽部において、参加23倶楽部で行われました。当日は3月下旬並みの天候で、最悪のコンディションでした。

ドライバーのランがなく砲台グリーンのため、特にAクラスの選手にとっては距離的に難しかったのではないかと思います。そんな最悪のコンディションの中にあっても、見事優勝された総武CCは平均スコア77・8と2位に14



開催倶楽部、船橋CC代表選手の皆様。

打の大差で完勝でした。大屋監督に優勝のコメントをお聞きしたところ「昨年は予選敗退で悔しい思いをしました。今年はチーム一丸となって、船橋CCで練習ラウンドを5回行いました」とのこと。またキャディーたちの話を聞きますと、総武CCは他チームと比べて、練習の取り組み姿勢が違っていたように、優勝は当然の結果だと思っています。

またベストスコア賞はAクラスの白井敏夫選手、Bクラスの杉山稔選手とも総武CCで、特に杉山選手の69打は立派でした。

悪条件にも関わらず競技が無事終了できたのも、選手各位の真剣なプレー、KGA関係者、開催倶楽部の皆様のご協力の賜物と感謝いたします。

最後に当倶楽部の社長の大島は、常日頃よりゴルフ場はコースが命だと申しており、コースの維持管理に力を入れていきます。選手の皆様は今回のプレーで、コースの良さを理解していただけたものと思います。これを機会に、当倶楽部をご利用いただければ幸いです。
(船橋CC競技委員長・鮫島恒男)



千葉第2ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月22日(火)



1位 新千葉カントリー倶楽部 / 468



2位 東千葉カントリークラブ / 471



3位 木更津ゴルフクラブ / 488



木更津GC競技副委員長の工藤洋史 キャプテン。



倶楽部史に刻む
10年ぶりの決勝進出
相手は強豪揃い。



左、木更津GCの鈴木一己代表取締役社長。右、木更津GC競技委員長の永井裕倶楽部チーム監督。

千葉 第2ブロック 木更津ゴルフクラブ
8年計画でコースを大改修
当日の運営は120名体勢

関東倶楽部対抗の会場として、当倶楽部では平成7年に開催して以来、17年ぶりにお引き受けする運びとなりました。

当倶楽部では、8年ほど前よりコース委員会を中心としてバンカーの全面改修、樹木管理などに着手するとともに、コースのグレートアップを目指してまいりました。また、昨年はかねてからの念願である、メイングリーンの大規模な改修工事を行い、新世代の芝種である、007を採用し、昨年の9月から新グリーンを使用してまいりました。

関東倶楽部対抗への使用は不安があったものの、コース管理スタッフ全員が整備努力を重ね、とうにか大会前には恥じないグリーンに仕上がり、安堵しておりました。しかしながら開催当日を迎え、スタート直後から雨が降り始め、時折り横殴りの強い雨が降る中、コースの難易度は一変し、選手の皆様が苦しむ姿も多く見受けられました。

同時にブレイの進行も徐々に遅れ始めましたが、大会関係者の皆様が総動員で、悪天候にもかかわらず進行の対応に努めていただきました。当倶楽部も、120名近いスタッフが丸となり運営に携わりました。早朝からの苦労の甲斐あって、当倶楽部チームはホームコースの利を生かして、3位に入賞

プレーヤー目線でのコース管理を心掛けます

木更津GC
坂本杜司グリーンキーパー

昨年9月にメイングリーンを新種芝の“007”に張り替え、1年を経ずしての今競技開催でした。正直なところ心配を抱えつつも、成功を確信しての決断です。またコース委員会では、コース全体の改修に長期計画で挑んでおります。会員各位のご支援あってのリニューアルです。木更津GCひと筋にキーパー歴30年、開場当時は“ヤード表示木”だった白樫が今は大きく成長して、戦略的要素になっています。



させていただき10年ぶり3度目の決勝大会へ進出することができました。

本大会が無事に終了して、木更津ゴルフクラブの歴史に、大きな1ページを刻むことができました。

これもひとえに、参加倶楽部の方々のご協力と関東ゴルフ連盟の藤堂競技担当委員長をはじめ、大会関係者の皆様のお陰と深く感謝を申し上げる次第でございます。

(木更津GC取締役支配人・岡本政善)



倶楽部間の親睦と
交流に意義あり！
「絆」は決勝競技に継続。



ギャラリートは全員が日食観測に。



スコアボード前にて。アウトコースのスタート。もう天体ショーを観る人はいない。



東京ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月21日(月)



1位 東京五日市カントリー倶楽部 / 454



2位 青梅ゴルフ倶楽部 / 459



Aクラスのベストスコア賞は山中秀一君(右)、
Bクラスのベストスコア賞は飯島慎平君(左)
が獲得。



開催倶楽部、青梅GCの関係者の皆様。

世紀の天文ショー、金環日食当日の平成24年5月21日、東京ブロックの予選競技が開催されました。前回の開催が平成11年、13年ぶりの大役ということで運営面には気を遣いましたが、前年の女子倶楽部対抗競技開催の経験を生かし対応いたしました。

しかし、年明けから春先まで続いた低温のため、フェアウェイの一部が枯死してしまいう状況に見舞われ「最高のコ

東京
ブロック
青梅ゴルフ倶楽部
東西コース
合言葉は「最高の状態」で
練習成果の存分な発揮」を

関東ゴルフ連盟より佐藤敏明大会会長、また竹村競技担当委員長をはじめ、競技委員の皆様のご指導を賜り、大過なく大会が終了できましたことを改めて御礼申し上げます。

ゴルフ環境が大きく変わる中、選手同士の親睦と倶楽部間の交流に、多大な貢献を目的とする倶楽部対抗競技が、ますます発展することをお祈りして大会レポートいたします。

(青梅GC支配人・池田茂)

ンデションの中」で、「練習の成果をいかなく発揮できるように」を合言葉に、コース課職員も必死の作業を進めてまいりました。

前日までは雨も心配されましたが、当日は風もなく気温24度と絶好の気象条件の下、決勝競技で優勝経験のある東京五日市C.C.が優勝。第2位は後半の巻き返して、開催倶楽部の青梅GCが入り決勝進出を果たしました。



金環日食の観測用メガネを用意。



神奈川ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月21日(月)



1位 相模原ゴルフクラブ / 469



2位 横浜カントリークラブ / 482



3位 大厚木カントリークラブ / 483



4位 小田原ゴルフ倶楽部松田コース / 490



玄関ホールで戸塚CCの皆様のお見送り。 優勝の相模原GCにベナントの授与。

左から、戸塚CCの神山逸志競技担当理事、大会会長の廣幡忠淳KGA常務理事、戸塚CCの松本宏副理事長、戸塚CCの的場崇総支配人。



表彰式では、大会会長の廣幡KGA常務理事から今大会の大成功と大盛況に、心から感謝の意が述べられました。参加各倶楽部の選手の顔には、一様に疲れ切った表情を残してはいたものの、それにもまして清々しい表情が際立っていました。

(戸塚CC総支配人・的場崇)

第4位に滑り込むか、すべての応援ギョウリが固唾を飲んで見守りました。結局1ストローク差で小田原GC松田コースが第4位に滑り込み、決勝進出4倶楽部が決定しました。

上級者の満足を得られるような
コースセティングを目指しました

戸塚CC 熊本康宏グリーンキーパー

各倶楽部を代表する上級者の方々が来場されるということで、コース課一同、キャンオープン以上に緊張しました。特にグリーンを速くしようと意識したわけではなく、ボールの転がりがきれいなグリーンを目指して、均一な芝芽とグリーン面を作るように心掛けました。春の芝は、葉の太さがばらつく傾向にあるので、芝を起こしながら目杓をして、丁寧に刈り込みをしました。天候にも恵まれたこともあり、グリーンに関しては、昨年のキャンオープン以上の仕上がりになっています。倶楽部対抗に携わった皆様方、本当にありがとうございました。



相模原GCの圧勝ながら
決勝進出の3席を巡り
最終選手の結果待ちに。



神奈川

ブロック

戸塚カントリー倶楽部
東西コース

ハードセッティングに
悪戦苦闘でも爽やかな余韻

首都圏では実に173年ぶりに、金環日食が観測できる日でした。クラブハウス開場と同時に早朝より各倶楽部は集結し、いざ決戦の幕は開けようとしていました。

神奈川ブロックでは、過去最高の28倶楽部の参加で行われ、平成4年以来20年ぶりの1チーム8人制での開催でした。

東西36ホール両コースを使用し、各倶楽部の選手が意気揚々と出陣して行きます。西コースはキャンオンオープン並みのグリーンスピードと、モンスタリーの異名を誇る16番ホール(634ヤード)により、また東コースは、関東アマのホールロケーションに加え、すべてフルバックティー使用というハードセッティングに、選手は悪戦苦闘を強いられました。それでも各倶楽部のために奮闘努力を重ねましたが、70台で回ってきた選手は112名中、西コース7名、東コース12名という少なさでした。そんな中で優勝の栄冠を勝ち取ったのは、昨年東日本大震災の影響で出場を辞退された強豪、相模原GCでした。AクラスBクラスともにベストスコア賞を



開催倶楽部、戸塚CCの代表選手と関係者の皆様。

輩出するほどの実力を如何なく発揮し、第2位に13打差をつける圧勝でした。第2位、第3位には8名全員が安定していた横浜CCと大厚木CCがそれぞれ入り、最後のひとつの席を小田原GC松田、大森野CC、伊勢原CC、東名厚木CC、津久井湖GC、そして開催倶楽部の戸塚CCの6倶楽部で争う展開となり、最後のプレーヤーがホールアウトするまで、どの倶楽部が



静岡ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年5月29日(火)



1位 富士サンカントリークラブ / 479



2位 富士小山ゴルフクラブ / 484



3位 東名カントリークラブ / 491



左から。大会会長の福田豊KGA常務理事、浜松シーサイドGCの戸上副理事長、磯部理事。



会員ボランティアの協力で
復旧にフル稼働の日々

浜松シーサイドGC
加藤広俊コース管理課長

台風に直撃された経験は、まず関東ではないでしょう。昨年9月21日に浜名湖に上陸した台風の東側に立地し、前触れの雨が去ってからすさまじい暴風に。被害は松が300本と他の樹木が100本で、倒木による芝の損傷も広範囲におよびました。応急処置でのぎましたが、復旧したのは競技の2か月前で、競技当日は順調に仕上がりました。



アットホームな雰囲気がとてもお洒落。



台風の影響はほとんどない。



前夜の雷雨から一転して快晴。



元気なコースナビゲーター(キャディー)。



果敢なワンオン狙いあり
見事なイーグルあり
応援団の歓声と拍手。



開催倶楽部、浜松シーサイドGCの代表選手の皆様。

前夜は激しい雷雨になり開催が心配されましたが、大会当日は快晴のゴルフ日和となりました。玄関に掲げられた各倶楽部旗に迎えられ、第一陣のリバー富士CC選手団が到着し、ハウス内が活気に溢れました。
倶楽部の名譽をかけた選手達は、応援の拍手に送られて次々にスタートして行きました。各選手はいつもより慎重なショットを心掛けている様子でした。名物ホールの7番(パー4、382ヤ、池に沿ったドッグレッグ)では、果敢にワンオンに挑戦する選手もあり、見事なイーグルに応援団の歓声と拍手が沸いていました。
熱戦の結果、1位は昨年に続き富士

静岡

ブロック

浜松シーサイドゴルフクラブ
初の開催に高まる緊張感
台風直撃の被害から復興へ



浜松シーサイドGCの関係者の皆様。

チサンCCが栄冠を手に入れました。2位は富士小山GC、3位が東名CCの順となりました。出場されました全選手の健闘と、応援の皆様にごエールを送らせていただきます。

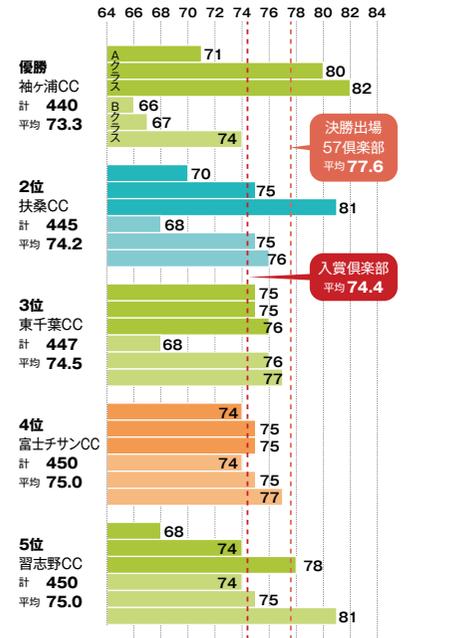
今回、大会会場となりました私どもコースは、昨年9月の台風の直撃を受け、開場以来の甚大な被害を受けました。従業員や会員ボランティアによる、連日の復旧作業に追われました。また一部に台風被害の跡が残っている所も

ありますが、なんとか大会を迎えることができました。

大会に向けては早くからグリーンキーパーを中心に、コースの整備に努めてまいりました。また若いコースナビゲーター(キャディー)の教育訓練も会員のボランティアにお願いし、連日特訓致しました。すべての部門が毎週ミーティングを開き、シミュレーションを重ね大会を迎えました。

全員がひとつのことに集中する大きな経験を体験し、また一歩前進できたのではないかと思います。大会を無事終了し、各倶楽部の皆様のご協力と、関東ゴルフ連盟委員の方々のご指導にお礼を申し上げます。
(浜松シーサイドGC理事・沖田晃)

関東倶楽部対抗決勝競技 入賞倶楽部と全出場倶楽部の平均ストローク



POINT コースの難易度も天候も違うので、年度ごとの比較分析はできない。平成24年度の決勝競技のスコアの平均値を読みこみよう。出場選手330人(失格を含まず)、平均が77.6ストローク。つまりボギーを4つか5つか打たなかったということ。

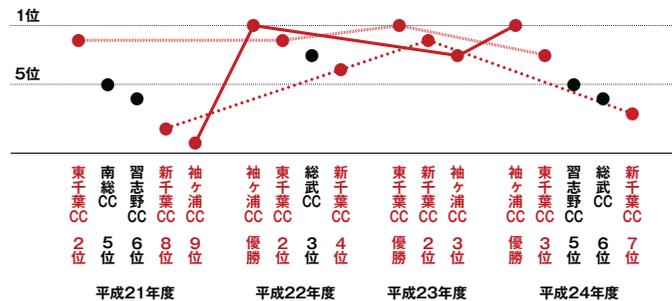
- ①鹿沼CC
- ②ゴールデンレイクスCC
- ③鷹CC
- ④ディアレイクCC
- ⑤佐野GC
- ⑥芳賀CC
- ⑦那須小川GC
- ⑧塩原CC
- ⑨宇都宮CC
- ⑩ロイヤルCC
- ⑪矢板CC
- ⑫那須チサンCC
- ⑬皐月GC佐野
- ⑭唐沢GC
- ⑮ファイブイトGC
- ⑯サンヒルズCC
- ⑰都賀CC
- ⑱鹿沼72CC
- ⑲皆川城CC



がんばれ、栃木！ 未勝利県の理由は？

POINT 過去、栃木県から関東倶楽部対抗に、優勝した倶楽部は出ていない。平成21年から24年の4年間の、決勝進出倶楽部の所在地を調べてみると、東北自動車道と東北新幹線、東北本線を軸に、南北に長い距離で拡散している。南の端と北の端では、およそ100キロも離れている。県内の交流もおおいかないだろう。ゴルフ場の所在地が離れているという条件は、おなじく未勝利県の新潟、長野、山梨にも該当する。倶楽部が強くなるには“ゴルフ場銀座”と呼ばれるような、密集状況が必要なのか？

千葉の強さは3強のライバル意識



POINT 平成21年から24年の4年間、決勝競技でのトップ10を調べてみると、千葉県の倶楽部の強さが歴然。特に3強(袖ヶ浦CC、東千葉CC、新千葉CC)はここ4年間、トップ10を外していない。安定して決勝に進出している結果から見ると、当分は“千葉のビッグ3”時代が続くそう。

千葉の3強を除く4年連続予選突破の7倶楽部……決勝では？

平成	21年	22年	23年	24年
日本海CC	16位①	33位①	17位①	43位①
塩嶺CC	46位③	21位③	40位③	54位②
赤城国際CC	26位①	16位①	26位①	44位①
鹿沼CC	31位①	27位②	28位①	48位②
富士CC笠間	18位①	18位③	4位②	16位①
習志野CC	6位②	14位②	16位①	5位②
東京五田市CC	25位①	8位①	38位①	35位①

POINT 平成21年から24年の4年間、各地区ブロック予選競技を勝ち抜いて、決勝競技に連続出場した倶楽部は、わずかに7倶楽部しかない。年度ごとの決勝競技の順位(丸囲み数字)だ。新潟の日本海CCと長野の塩嶺CCは、

「なんで千葉は強いんだ？」という声
が、関東倶楽部対抗でも関東女子倶楽部対抗も報知杯でも、決勝競技会場が多く聞かれた。
男女とも千葉勢同士の優勝争いが続く、強さの原動力はこれまでも分析してきた。伝統の力(各県の優勝回数)の合計より千葉が多い、倶楽部の規模の大きさ(27ホール、36ホール、人材が集中するなど)。

「なんで？」
今年、決勝競技の会場となった取手国際GCの関係者が、競技の始まる前に優勝を予測していた。
「袖ヶ浦CCの代表選手の皆様は、練習ラウンドで攻略のポイントを探しているようでした。そこに打てる技量の高さもさることながら、各選手がルーポ指示のナビを持っているかのように」
チームワーク、人々の絆、前年度優勝の東千葉CCにもそれを感じたが、強い意志が働いているのだろう。

突出した実力の千葉のビッグ3は今年度も安定した戦いぶり



ホールアウトする袖ヶ浦CCの阪田哲男監督。

暑さにめげず最後まで集中 総武CCがチームワークで 関東を制す

天気情報では千葉県下に雷雲発生との予想もあったが、関東女子倶楽部対抗報知杯決勝競技の開催された姉ヶ崎CCは、朝から強い陽射しが降り注いでいた。

つい数日前に終わったロンドン五輪の余韻がまだ残っていて、とりわけ日本の女子団体競技での大活躍は、感動の涙が溢れた。種目は違うが女性の強さの一端を、この団体競技でも見られるのではないかと……そんな期待もあった。「難度の高いコースですし、倶楽部同士の親交を深める意義からしても、ホールケーションは比較的易しい設定です。倶楽部を代表して、オール関東の強豪と戦ったという、夏の熱い思い出になると思いますね」と、内藤正幸KGA競技委員長。

定刻の7時30分にティーオフした4選手と、キャディーを乗せた5人乗りのカートがスタートして行った。気温はすでに30度前後か、風もない。ギャラリーとして観戦にまわると、



撮影／塚越克（KGA広報委員長）

コース上では歩きのプレーが目立つ。ホール間のインターバルやセカンド地点へは乗用カートを利用して、アプローチエリアからは、歩いて地面から得られる情報を、大切にしているのか。東コース・全長5875ヤードを数字や見た目で判断すれば、短く感じるだろう。「フェアウェイが軟らかいので、ランが出ません。実感として長く感じるはずで、女性には難しいと思います」と、内藤競技委員長。

最優秀選手賞を獲得したのは落合美詠子と宮下ひとみで、ともに70ストローク。落合は前半の最終ホールをダブルボギーとしたが、応援の後押しもあったの栄冠だろう。

栄えある優勝の総武CCは、スコアボードの前で各倶楽部が固唾を飲む中、代表選手が揃って入浴中だった。

連覇を目指した成田東CCは、全員がゴルフウェアのまま、最終結果の発表まで待機。それも3人の結果がティスプレーに表示された時点で、総武CCの優勝をほほ予想してのことだった。

「後半はもう必死で、過呼吸症になりそうでした」と、成田東CCの山本美恵子キャプテン。

一方、総武CCの中島政江監督は「代表選手の4人全員が50代ですから、はしゃぐこともなく喜びを感じています。また4人とも総武コースの近所に住



ONE FOR ALL
強い絆で結ばれる
選手と応援団



関東女子倶楽部対抗報知杯、 歴史を遡ると

「関東女子倶楽部対抗報知杯」がKGAの主催になったのは3年前。この対抗戦は倶楽部の威信を高め、友好の絆を深める華やかな戦いとしてゴルフ界から注目されている。

日本の女子競技は大正15（1926）年創始の「婦人東西対抗」に端を発する。都合11回の対抗マッチが行われ、関東の7勝2敗2引き分けの記録が残るが、昭和12（1937）年を最後に中止された。（注：昭和11年は2・26事件で中止）

女子の個人戦は昭和30年の「関東女子ゴルフ選手権」が始まり、女子倶楽部対抗は同34年、東京中日新聞の主催で昭和36年まで行われた。開催の推進役は女子ゴルフの先駆者の三井栄子さん。戦前の婦人東西対抗に出場した唯一の経験者。大会は東京ゴルフ倶楽部の3勝で幕を閉じた。

しかし平成3年には報知新聞社の手で復活を見た。19回の大会が行われた後、KGAの主催になった。

（文：福島靖KGA広報委員会参事）



決勝競技 入賞倶楽部

平成24年8月20日(月)



2位 成田東カントリークラブ/311



3位 江戸崎カントリー倶楽部/316



優勝 総武カントリークラブ/308



総武CC優勝の原動力は林恵子さん。

み、仕事の合間をみて、早朝や深夜にも練習を重ねています」とのこと。

当日のハプニングが、前半の最終ホールで起こった。総武CCのエース格の林恵子の打ったボールが、木に跳ね返されて乗用カートに当たった。このアンラッキーなワンペナルティーで、逆に選手全員が奮起したという。

「チーム戦だからといって、特別になにかをすることはありません。ただ喜びは、チーム全員分が戻ってきます」と林。日本女子シニアを3回制覇した実力者であっても、団体戦の優勝は格別の思いがあったに違いない。



平成24年度 関東女子倶楽部対抗～報知杯～決勝

4位 東京湾カントリークラブ/316



KGAの竹田恒正理事長から総武CCへ優勝盾の授与。



姉ヶ崎CCの菅千太郎理事長。



最優秀選手賞を獲得した落合美詠子さん。



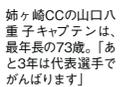
量食でも選手の多くは緊張で食欲がない。応援団はフルーツなどをすすめて元気回復に必死。



5位 平塚富士見カントリークラブ/321



同じく最優秀選手賞の宮下ひとみさんの華麗なショット(右)。



姉ヶ崎CCの山口八重子キャプテンは、最年長の73歳。「あと3年は代表選手でがんばります」



これを所属倶楽部に持ち帰るぞ、と入賞倶楽部の喜び。



江戸崎CCの市川慶子さんは、表彰式でも感涙。前半の不調を後半で挽回し3位入賞の立役者に。



ロビーでお見送りをする開催倶楽部、姉ヶ崎CCの皆様。

総武カントリークラブ

緊張から解放された安堵感で
総武チームは控えめな喜び



関東女子倶楽部対抗「報知杯」決勝
競技で、総武CCの中島政江監督は、
スコアボードの最上段にリスタートアップさ
れたのを、少し驚いた様子で確認した。
第1回大会では10位、昨年は3位、
今回も競技経過からして優勝が濃厚
だったのだが、最終の選手がホールア
ウトしたと同時に、総武CCの選手は
いなかった。

「チーム全員が、お風呂に行つてしまつて、
取材が困りますか」と、まさに無欲の勝利。
勝因としては河嶋静子の自己ベスト
74が貢献度大で「私、本番に強いん

です」と、にこやかに笑う。アンカー
の水澤真澄も責任重大だったが「楽し
かったですよ」と、緊張はない。日本女
子シニア3連覇の偉業を達成した林恵
子キャプテンにしても「団体戦優勝は、
喜びがチーム全員分の大きさです」と
悲願の優勝、とか、涙の栄冠、などは
当たらない明るさ。
「全員50代の仲良しグループです。倶楽
部での練習の時と、まったく同じです」
(中島監督)
謙虚さと落ち着き、総武CCチームは、
こんなに(アンケート)参照、素敵な方々です。



総武CC代表選手の
皆様にも人気の「総
武秋御膳」。品数は
豊富でも低カロリー。



所属の総武CCの全面的なバックアップが、優勝
の原動力かも。



氏名	林 恵子さん	河嶋静子さん	由元葉子さん
星座	やぎ座	魚座	さそり座
血液型	A型	O型	B型
職業		会社員	主婦

ゴルフぶり	林 恵子さん	河嶋静子さん	由元葉子さん
ゴルフ歴	23年	30年	20年
始めた動機	夫に連れられて練習場へ	上司の勧め	レッスン料がタダだから行ってみたいと友達から誘われ貸クラブで始めました
初ラウンドのスコア	88	120ぐらい	167
平均スコア	82	84	85前後
ワンラウンドの平均パット数	26～28ぐらい	35	数えていません
ドライバーの平均飛距離	195ヤード	190～200ヤード	200ヤード
年間ラウンド数	100回	70回	65回
毎月の練習量	月に10回、1回につき100球打つ	月に8回、1回につき100球打つ	月に5回、1回につき250球打つ
得意技	ドライバー・アプローチ	アプローチ	ドライバー
不得意	アイアン	パット	アイアン・パット
尊敬するゴルファー	杉原輝雄・中村トク子さん(アマ)、増田京子さん(アマ)	トム・ワトソン	不動裕理
ゴルフで一番大切に思うこと	どんな時でも楽しくラウンドすること	集中力	人に迷惑をかけない。スコアがいいからといって天狗にならない
今後の目標	体に気をつけて100歳までゴルフを楽しむ	健康で少しでも長く競技生活を続けたい	80歳代でゴルフ出来る体力でいられること

日頃の生活	林 恵子さん	河嶋静子さん	由元葉子さん
休日の過ごし方	ラウンド・練習	ゴルフ・ショッピング	2歳と0歳の孫の面倒を見ている
日頃の健康管理	水泳・ストレッチ・整体・バランスの取れた食事	体のケア	たくさん食べて、たくさん眠って楽しいゴルフをしてストレスをためない
ゴルフ以外の趣味	犬(ココア、ボギー)、ネコ(おね)と遊ぶこと	ショッピング・温泉	洋裁
過去のスポーツ	テニス	陸上	バレーボール、卓球
トレーニング等の運動	水泳・水中ウォーキング	なし	なし
マイカー	マイバント(ダイハツミラ)	セドリック	プリウスアルファ
ウェア	—	決めたブランド有・衝動買い	衝動買い・普段着
日焼け防止	UV液程度	UV液程度	UV液程度
得意なカラオケ	なし	なし	瀬戸の花嫁
好きな食べ物	おにぎり、お寿司	お寿司・焼肉	お寿司・ステーキ
苦手な食べ物	なし	なし	納豆
お酒	付き合い程度	付き合い程度	付き合い程度
メッセージ	来年もこの大会でお会いできるように頑張りますよ。	チームが同じ目標を持って達成した時の醍醐味は最高です。個人戦では味合うことが出来ません。感動しました。	何事も一生懸命やれば夢はかなうものです。

取材協力/総武カントリークラブ



1打差で決勝進出を逃すも
柏崎CCチームの
健闘が光る。



開催倶楽部、柏崎CCの代表選手と関係者の皆様。

新潟ブロック 柏崎カントリークラブ 佐渡・米山コース 日本海からの風が 順位にも微妙に影響した？

平成22年からKGA主催競技となり、今回が3回目。名実ともにその重みを増した感があります。参加倶楽部の力の入れようも、ひとかたならぬものがあるのではないのでしょうか。心配していた当日の天気は曇りでしたが、日本海を俯瞰する柏崎CC特有の風が、選手のプレーに少し影響したようでした。佐渡コースと米山コースを使用しましたが、特に佐渡コースは全ホールが海に面し、風の影響を受け



競技は須崎競技担当委員長をはじめ、KGA競技委員の皆様、そして当倶楽部からの3名の運営委員の協力により、トラブルもなく円滑に進められました。心配していた天気・運営状況が順調だと、私に気になることは我が倶楽部の成績でした。昨年は男女とも決勝大会に進出することができましたので、今年開催コースの利もあり、ひそかに期待しておりました。結果は残念な

から1ストロークおよばず、しかし5位の好成績でした。選手の皆様はホームコースのプレッシャーを感じながらも、健闘してくれました。表彰式は女性の大会ならではの、華やかで明るい雰囲気なか、大会会長の齋藤KGA常務理事より団体・個人の表彰。引き続き新潟県ゴルフ連盟の表彰が行なわれました。そして笑顔でお互いの健闘を称えあいながら、散会となりました。今大会運営にあたり、関東ゴルフ連盟関係者の皆様、そして各倶楽部の方々、キャディー派遣をいただいた近隣各倶楽部に、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。(柏崎CC支配人・力石陽二)



団体戦ならではの、スコアボードのスコア変動。



提出したスコアカードは、ただちに集計される。



ミーティングも真剣。

新潟ブロック予選競 決勝進出倶楽部 平成24年6月12日(火)



1位 湯田上カントリークラブ / 340



2位 新潟カントリークラブ / 345



3位 世神五頭ゴルフ倶楽部 / 348



4位 紫雲ゴルフ倶楽部 / 350



長野ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年6月15日(金)



平成24年度
関東女子倶楽部対抗～報知杯～決勝競技

1位 上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部 / 319



平成24年度
関東女子倶楽部対抗～報知杯～決勝競技

2位 松本浅間カントリークラブ / 321



3位 穂高カントリークラブ / 321



大会会長の宮坂久臣KGA常務理事(上)と、
板橋博美KGA競技担当委員長(下)。



優勝の上田丸子グランヴィリオGCにペナントの授与。



上位3倶楽部が
激烈なトップ争い
来年こそリベンジを……。



来年は開場50周年の諏訪湖CC。
歴史の重みが随所に。

梅雨の時期は寒暖が激しく、服装に気をつけてのプレーではありますが、競技当日は好天に恵まれ、標高1100mに位置する当諏訪湖CCは、華やかな彩りでいっぱいになりました。爽やかな風吹く青空のもとの競技開始。早朝から応援に駆けつけてくださった方の「晴れて良かったね」の囁きの中、12倶楽部72名の参加選手により凛として始まりました。前身の報知アマ時代から出場し、全国大会で優勝経験を持つ古豪倶楽部に



開催倶楽部、諏訪湖CCの代表選手の皆様。

長野
ブロック
諏訪湖カントリークラブ
青空に高原の爽やかな風が
吹くコースは色彩に溢れて

**スタッフ丸となって
高品質を保つ楽しさ**

**諏訪湖CC
遠山和秀グリーンキーパー**

唐松、白樺に囲まれた、美しい高原コースが自慢です。ペント芝のワングリーンは平均500平方メートルと狭く、丘に囲まれた打ち下ろしホールなどは風通しが悪く、品質の維持管理に神経を遣います。



当諏訪湖CCは5位。順位では惜敗の念がありますが、さらに来年はぜひ決勝大会出場を果たしたいと思えます。決勝大会へ出場する3倶楽部におかれましては、異独特の壮行の辞を念頭に、県代表として大いに奮闘されませう。ご健闘をお祈りいたします。

最後に、競技運営にあたり宮坂大会会長、板橋競技担当委員長をはじめ、競技委員、運営委員の皆様的確なご指導に深謝申し上げます。各倶楽部ご関係の皆様のご理解とご協力のもと、長野ブロック予選競技が無事終了できましたことに、厚く御礼申し上げます。来年度の会場であります長野CCでの再会を楽しみに、御礼いたします。

(諏訪湖CC支配人・川上裕市)



山梨ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年6月11日(月)



1位 甲斐駒カントリークラブ / 328



2位 ヴィンテージゴルフ倶楽部 / 332



日焼けの心配少なく
気温もゴルフに
最適なコンディションで。



お花畑のような練習グリーンの彩り。



て、スムーズに運営することができ
たことを、心から感謝を申し上げ
次第です。今後もこのような大会を、
開催するに相応しい倶楽部であり続け
るために、従業員一同努力していく所
存でございます。

最後に、KGA競技委員の皆様、参
加倶楽部様にはご理解と協力をいた
だきまして、厚く御礼申し上げます。
(甲府国際CC取締役社長・伊藤修二)



ベストスコア賞を獲得した関根奈穂美さん(右)と、小林敬子さん(左)。



甲府国際CCの伊藤修二取締役社長。



大会会長の志村和也KGA常務理事から、第1位の甲斐駒CCへペナントの授与。

山梨県の単独開催が2回目となる、
関東女子倶楽部対抗山梨ブロック予選
競技の会場として、10倶楽部が参加し
て当倶楽部で開催されました。
関東ゴルフ連盟主催競技の開催会場
としては、平成2年に男子の倶楽部対
抗山梨予選の会場に選定されたのを始
め、過去に同
競技会を3回
経験しており
ましたので、
準備も順調に
進行了いま
しました。
しかしなが
ら春先の低温
や少雨、病気
による芝生の
生育不良が要所に見られ、開催日まで
にはコースコンディションを万全にする
ため、コース管理課にはいつも以上の
メンテナンスを心がけるよう指示し、
開催日には充分とは言いませんが、
選手の皆様に満足いただけるコンディ
ションに仕上げることができました。



開催倶楽部、甲府国際CCの代表選手の皆様。

山梨
ブロック
甲府国際カントリークラブ
過去3回開催の経験が生き
スムーズな運営に安堵

開催日が6月の梅雨時期ということ
で、天候も心配しておりましたが、競
技開催には最良の曇り空と快適な気温
となり、選手だけでなく各倶楽部の関
係者、応援団も競技の熱戦を見つめる
には、絶好の気象条件でした。
また大会運営につきましても、大会
前の打ち合わせ、コースセティングな
ど、萩原競技担当委員長、廣瀬副委員
長の指示のもと、充分打ち合わせをし



1位 白水ゴルフ倶楽部 / 315



2位 藤岡ゴルフクラブ / 318



3位 ツインレイクスカントリー倶楽部 / 324



4位 レーサムゴルフ&スパリゾート / 325



初穂CCのチーム全員でお見送り。



緊張のスコア確認。



大接戦を伝えるスコアボード。



華やかな表彰式パーティー。



決勝進出に1打届かず
チーム初穂の
健闘に拍手!



開催倶楽部、初穂CCの代表選手と関係者の皆様。

結果は決勝6位の実績を持つ白水GCが、前評判どおりに力を発揮して、3打差に迫った藤岡GCから逃げ切り優勝いたしました。3位以下の順位が確定したのは、最終組のスコアが集計表に書かれた瞬間でした。息を

とどき霧がまく中、無線連絡もあわだしくなり心配もされましたが、競技委員各位の迅速な進行により、最終組までスムーズに、無事ホールアウトすることができました。結果は決勝6位の実績を持つ白水GCが、前評判どおりに力を発揮して、3打差に迫った藤岡GCから逃げ切り優勝いたしました。3位以下の順位が確定したのは、最終組のスコアが集計表に書かれた瞬間でした。息を

小雨と若干の霧の中、関東女子倶楽部対抗群馬ブロック予選が、16倶楽部の出場により開催となりました。まだ3回目で、これから歴史を作る本大会。白水GC以外は連続で決勝進出をした倶楽部はなく、2度目や初出場を目指す倶楽部が、予想どおりの大激戦を繰り広げることとなりました。ときどき霧がまく中、無線連絡もあわだしくなり心配もされましたが、競技委員各位の迅速な進行により、最終組までスムーズに、無事ホールアウトすることができました。

のむ展開に終止符が打たれ、3位から5位までは1打差の大激戦となり、ツインレイクスCCとレーサムゴルフ&スパリゾートが予選通過を果たし、連続出場を決めました。開催倶楽部の初穂CCは地の利を生かされず、惜しくも1打差に涙をむ結果となりました。しかし、5人の選手がまとまった、立派な成績であったことに胸を張っていたのだと思います。3回目の本大会を終えて一つの歴史が作られました。初穂CCは地元の選手たちが、日々練習に精進し、必ず上位倶楽部の中に割って入ってくるでしょう。我々ゴルフ場関係者はまた、開催倶楽部と協力し合い、関東女子倶楽部対抗競技を応援してまいります。KGAの大会役員の皆様、また各倶楽部の関係者の皆様ならびに選手の皆様のご協力を得て、本大会を大成功に無事に終了することができましたことに、心より感謝申し上げます。

(初穂CC支配人・丸山進)

群馬
ブロック
初穂カントリー倶楽部
白水がV2。3位から5位は
1打差の大激戦!



優勝争いも4、5位も
同スコアで並ぶ
デッドヒートに。



スタートからスコア確認まで。

南摩城CCの代表選手の皆様の大健闘ぶり。



大会会長の篠崎勝宏KGA常務理事から第1位の表彰を受ける東松苑GC。

ベストスコア賞を獲得した広沢みどりさん。

表彰式で初めて、順位が公式に発表される。

南摩城CCの岡地晃嗣理事長。



開催倶楽部、南摩城CCの代表選手と関係者の皆様。

今開催にあたり、参加倶楽部の皆様、KGAの競技委員の皆様ならびに関係者の皆様のご協力により、無事大会が終了致しましたことに、心より感謝申し上げます。
今後このような競技会を開催できますよう、一層努力してまいります。
(南摩城CC支配人・高木文弘)

栃木ブロック 南摩城カントリークラブ 中・東コース 心配された雨も止み 全社員で整備したコースへ

当倶楽部の選手も地元開催の地の利を活かし、決勝大会出場を目指し健闘致しましたが、7位で惜しくも決勝大会には進めませんでした。

また、梅雨時期の開催でもあり天候を心配しておりましたが、当日の朝は霧雨が少し降る程度で、8時頃には止むという、まずまずの天候に恵まれました。
と、全社員一丸となって整備を行ってまいりました。

本年度、関東女子倶楽部対抗栃木ブロック予選競技の会場に選定され、競技会前日まで、選手の皆様方が好コンディションでプレーできるよう、コース管理はもろろんのこと、



傘が必要だったのは朝だけ。

栃木ブロック予選競技 決勝進出倶楽部 平成24年6月14日(木)



1位 東松苑ゴルフ倶楽部 / 319



2位 芳賀カントリークラブ / 319



3位 矢板カントリークラブ / 328



4位 皆川カントリークラブ / 331



5位 鹿沼カントリー倶楽部 / 331



茨城ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年6月11日(月)



1位 ニッソーカントリークラブ / 336



2位 霞台カントリークラブ / 337



3位 水戸グリーンカントリークラブ / 338



4位 水戸・ゴルフ・クラブ / 340



5位 江戸崎カントリー倶楽部 / 342



ベストスコア賞は霞台CCの海野睦美さん(右)、
独走の71で獲得。左は同チームの海野美和子さん。



優勝のニッソーCC落合美詠子キャプテンにペナントを授与する
大会会長の塚原裕KGA常務理事。



熟知したコースでも
1打差に泣いて
進出ならず。

開催倶楽部、大利根CCの代表選手の皆様。左から、山本佳世子、田中瑞穂、朝野三枝子、林久美子、村橋正子、一倉由香里の各選手。

茨城
ブロック
大利根カントリークラブ
東コース
来年度の大舞台の決勝競技を開催
数々の大舞台の開催経験で

関東女子倶楽部対抗茨城ブロック予選競技が、23倶楽部のご参加をいただき、当倶楽部の東コースで開催されました。前夜は強い雨でしたが朝には雨が上がり、昼過ぎにはすっかり爽やかな晴天になりました。

東コースは、これまで日本オープンゴルフ選手権、日本女子オープンゴルフ選手権などの大舞台となつてまいりました。昨年は、コース設計の井上誠一氏が当初計画していました東6番と12番ホール間のクリークが完成しております。また、選手の皆様に気持ちよくプレーしていただけますよう、本大会に向けてコースコンディションを万全に整備してまいりました。

各倶楽部の選手ともウエアを揃えておられ、応援団の皆様も大勢お見えになり、大変華やかで賑やかな大会となりました。結果は上位倶楽部が大接戦となりましたが、ニッソーCCが見事に3連覇を果たされました。また霞台CCの海野睦美選手が、他を大きく引き離す71ストロークでベストスコア賞を獲得されました。

当倶楽部の選手も健闘しましたが、わずかに1打届かず予選を通過することができませんでした。

茨城ブロック予選競技を無事成功させていただきましたこと、大会関係者の皆様、各倶楽部の選手・役員の皆様、そして応援にご来場くださった皆様に、心より感謝申し上げます。

なお、平成25年度の関東女子倶楽部対抗杯決勝競技を、当倶楽部で開催させていただくことになりました。皆様と再びお会いできますことを、楽しみにしております。

(大利根CC支配人・新井勝巳)



応援団も倶楽部のユニフォームで。



大会会長の高橋正孝 KGA副理事長から高根 CCの渡辺恵子さんにベストスコア賞の授与。



なごやかな雰囲気、乾杯！



上位は1打差で目まぐるしく順位が変わる。



決勝進出5倶楽部は4打差にひしめく。



ギャラリープラザで応援団テントで、大いに盛り上がる。



埼玉

ブロック

日高カントリークラブ
東・西コース

あいにくの雨ながら
白熱のゲーム展開に大拍手

今年度は昨年より2倶楽部参加が増えて、24倶楽部での予選競技会となりました。

梅雨入りしたため、当日は小雨模様で本番を迎えました。大会前日までに各施設、コースの整備を済ませ、緊張感の中で各選手がティショットを打ちスタートしていく、この時のために従

業員皆で頑張ってきて良かったと安堵感と達成感を覚えました。

大会準備のために最初にしたことは、参加倶楽部の皆様の駐車場を拡張し、また取り引き先様のご好意により、ギャラリー用駐車場として200台、日高市のご協力で120台分を提供していただきました。

大会は時折り、小雨が降ったり止んだりの中順調に進み、女子の大会ならではの華やいだ雰囲気にも包まれました。各倶楽部の応援も熱気を帯びてきて、選手の活躍に一喜一憂しながら、観戦していました。

最終組が無事ホールアウトし、激しかった戦いの後、表彰式はリラックスした寛ぎの中で始まりました。各倶楽部とも、チームメイトの戦いの労をねぎらう姿は、とても印象的でした。

本大会が無事終了できましたことは、大会関係者の皆様、参加倶楽部の大勢の方々の多大なるご指導ご協力の賜物であり、改めて厚く御礼と感謝を申し上げます。
(日高CC支配人・平沼正史)



埼玉ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年6月11日(月)



1位 高根カントリー倶楽部 / 343



2位 彩の森カントリークラブ / 344



3位 岡部チサンカントリークラブ / 346



4位 霞ヶ関カントリー倶楽部 / 346



5位 日高カントリークラブ / 347





千葉ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年6月12日(火)



1位 東京湾カントリークラブ / 332



2位 富里ゴルフ倶楽部 / 335



3位 総武カントリークラブ / 337



4位 成田東カントリークラブ / 338



5位 千葉夷隅ゴルフクラブ / 338



小雨となればレインウェアを脱いでショット。



慎重な確認のあと、スコアカードを提出。



篠塚美幸さんの華麗なティンショット。



千葉夷隅GCのコース管理関谷支配人。



ベストスコア賞を獲得した鈴木智子さん。

正装して表彰パーティー。



昨年の優勝倶楽部と最後の1席取りでデッドヒート。

選手と役員のみ、クラブハウスレストランで、プффスタイル(バイキング形式)の対応にしました。心配された天気は選手到着時は曇りでしたが、スタート時刻の8時頃から小雨が降り始めて、終日降雨の一日でした。降雨の影響が、各倶楽部の選手のスコアは予想に反して伸びず、昨年の決勝大会で優勝の本命倶楽部の、成田東CCが338ストロークで4位通過



参加30倶楽部の選手および応援組の休憩と昼食場所にカート庫を使用したため、前日からカートを外泊させるなど、その設備の準備に追われました。朝食は

クラブハウスは女性だけの大会とあつて、男性エリアのロッカー室やバスルームの開放のため、バスルームの目隠し作業など、前日から準備に追われました。

千葉ブロック
千葉夷隅ゴルフクラブ
東西コース
女性競技者用に設備を改装
応援団用にカート庫を転用



雨の中、熱い応援が続く。

過という結果でした。かろうじて5位に当千葉夷隅GCが同ストロークで入り、決勝大会へ駒を進めることができました。

今大会には大会役員の皆様他、千葉夷隅GCの分科委員会(競技委員、フェロシップ委員、キャディー委員、コース委員)の皆様にも、ボランティア参加していただきスムーズな運営ができたことに深く感謝いたします。

(千葉夷隅GC総支配人・岡本豊)



東京ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年6月12日(火)



1位 立川国際カントリー倶楽部 / 326



2位 東京五日市カントリー倶楽部 / 336



3位 東京国際ゴルフ倶楽部 / 338



左/ベストスコア賞を獲得した金井佳代さん。中/岩田淳子KGA理事
担当委員長。右/東京国際GCの古屋隆幸競技委員長。



**フェアウェイとラフの
曲線の美も日々の整備で**

**東京国際GC
牛尾高一グリーンキーパー**

速いグリーンの設定には選択肢があります。今大会では女性競技者の技量を、最大限に発揮していただけるよう、コンパクション(硬度)は軟らかめ。硬さではなく、グリーン面のなめらかさで速さを上げるため、1週間前から夕方と翌朝に刈り、当日はダブルカット(2度刈り)を実施しました。「いいグリーンだ」との声に安堵です。



朝の練習場は肌寒いほど。



練習グリーンでタッチを調べて。



1番ホールのスタート時刻には、ギャラリーの応援が飛び。



10番ホールのスタートの周辺。



右/大会会長の小林正義KGA理事。
左/東京国際GCの末森多賀生理事長。

すべてを順調に終え、お見送りをす
る東京国際GCの皆様。



●天候曇天、11時頃から小雨/気温20度



**キャリーで攻める難コース
熟知した代表選手が
決勝進出を決める。**

われました。
行き届かない点が多々あったかと思
いますが、選手ならびに関東ゴルフ連
盟の役員、競技委員、関係者のご協力
により、無事終了できました。ありが
とございました。
(東京国際GC事務局長・大谷庫三)

女子倶楽部対抗競技は平成22年から
KGA主催競技となりましたが、東京地
区では従前より各倶楽部間の親睦、懇親
度の高いショットが残ります。セカ
ンド地点は平坦な箇所が少なく、難易
度の高いショットが残り。



一喜一憂。午後3時、全選手がホール
アウト、午後3時30分より表彰式が行
われ、各倶楽部の成績が記入される度に
一喜一憂。午後3時、全選手がホール
アウト、午後3時30分より表彰式が行

一昨年の5月、男子の予選会場をお
引き受けし、多くの反省点と経験を活
かし、昨年から本大会の準備を進めて
参りました。各倶楽部代表選手に少し
でも満足いただけるよう、スタッフ一同
協力し、コース整備・会場の設営等に
気を配って参りました。
コースは多摩丘陵の西側に位置し、
都心から約30キ。近くには電車の駅も
あつて、交通至便な場所にあります。
昭和36年10月にオープンし、途中経営
が交替しましたが、今年51年目を迎え
ました。コース設計は名匠赤星四郎氏。
アウト・インともに飛距離より正確
なショットが要求され、グリーンはアン
ジュレーションが少なく、また芝目も強
くなく、ラインは比較的読みやすいと
思います。花道が少なくキャリーを必要
とするホールが多く、ランニングでの
グリーンオンは少なくなります。セカ
ンド地点は平坦な箇所が少なく、難易
度の高いショットが残り。



フロント受付の設営

**東京
ブロック
東京国際ゴルフ倶楽部
交通至便なベッドタウンに
緑のオアシスが広がる**



稀に見る大激戦！
最後の1枠は
3組が同スコアに。



青空の下、林間に打球音が響き、続いて歓声と拍手。



相模原GCの池田典義理事長。



大会会長の廣幡志津KGA常務理事から、優勝の平塚富士見CCにペナントの授与。



ベストスコア賞を獲得した宮下ひとみさん。



今大会の成功を支えた役員、競技委員各位。



神奈川ブロック

相模原ゴルフクラブ 西コース

競技用のコース設定は万全 4～6位は同スコアの大混戦

神奈川ブロック予選競技は県下18倶楽部が参加し、来年10月に日本女子オープンゴルフ選手権(東コース)が開催される、当倶楽部西コースにおいて開催されました。当倶楽部での女子倶楽部対抗開催は、昨年の決勝大会に続いての開催となります。

当日の天候は朝から晴、昨今の異常気象の中、心配された雷雨等もなく日中の気温も26度まで上昇し、多少暑く感じられたが絶好のコンディションでした。

コースコンディションについて、当倶楽部では(公財)日本ゴルフ協会、関東ゴルフ連盟などの各種主催競技を引き受ける機会が多く、そのため試合に向けてのコースメンテナンスは常時、コース委員会、コース管理部門が一体となって取り組んでいます。今回も選手の皆様が、最高のコースコンディションでプレーができるよう、コースメンテナンスは万全を期して大会を迎えることができました。

団体競技である倶楽部対抗独特の雰囲気・緊張感の中、各倶楽部応援団の熱い声援を受けながら、第1組目が午前8時にスタートしました。競技は順調に進み、午後4時前に表彰式開始の運びとなりました。

神奈川ブロック予選競技 決勝進出倶楽部 平成24年6月4日(月)



1位 平塚富士見カントリークラブ / 335



2位 大厚木カントリークラブ / 336



3位 相模原ゴルフクラブ / 337



4位 箱根カントリー倶楽部 / 339

成績は決勝に出場できる4倶楽部の内、1位から3位までの3倶楽部がすべて1打差の僅差。残る1倶楽部を3倶楽部が同スコアで争う混戦となり、規定により箱根CCが決勝出場権を得ました。

午後4時30分散会、大会は盛會裡に終了することができました。今回も選手90名に加えて、多数の倶楽部関係者および応援団が来場され、対抗戦を通して倶楽部間の親睦が深められた1日でありました。

最後に、本大会が無事に終了できましたことに対して、主催者である関東ゴルフ連盟、廣幡大会会長、橋本競技担当委員長ならびに運営に携わった競技委員の方々、そして出場された倶楽部の選手および関係者各位に、改めて感謝申し上げます。

(相模原GC支配人・加藤良夫)



静岡ブロック予選競技 決勝進出倶楽部
平成24年6月12日(火)

静岡地区 対抗 倶楽部



1位 ミオス菊川カントリークラブ / 333



2位 裾野カントリー倶楽部 / 354

難しいコースに雨が加わり、各選手のスコアは伸びない。



静岡地区予選 対抗 倶楽部



優勝のミオス菊川CCにペナントの授与。



健闘を称える浜松シーサイドGCの福田理事長。



練習場は芝生の上から打て、本コースのような設定。



高速グリーンと深いラフながら
ベストスコア賞は4人も。



静岡ブロック予選競技当日は、曇りのち小雨という天候でしたが、応援団に見送られて各選手は緊張気味に、スタートして行きました。

速いグリーンと深いラフに、苦しみながらのラウンドとなりました。最終ホールには大勢の応援団が見守る中、見事にパーディーを決め大拍手を受ける選手もあり、盛り上がりを見せていました。

速報板の前では、次々に入ってくるスコアに一喜一憂する人達で溢れ、ほぼ1位が確定されるミオス菊川CCに続き、裾野CC、浜松シーサイドGC、ギヤツビイGCの2位争いとなりました。1ストロークを争う展開に、スコアが記入されるたびに、どよめきが起こりました。ベストスコア賞も4人(末江里子、入野己弥代、渡辺雅代、松尾律子の各選手)という接戦でした。



表彰式で成績発表があり、ミオス菊川CCと裾野CCが決勝戦進出となりました。両倶楽部のご健闘をお祈り申し上げます。他の倶楽部の選手の皆様にも、エールを送らせていただきます。

続いて大会会長の福田KG A常務理事より、ご挨拶がありました。今大会の成立は8倶楽部の参加が必要でしたが、最後に参加を決められたのがミオス菊川CCで、そこが優勝されたというエピソードが紹介され、会場が沸いていました。最後に、開催倶楽部の戸上副理事長より大会関係者の皆様への謝辞があり、無事大会が終了しました。

(浜松シーサイドGC理事・沖田晃)



開催倶楽部、浜松シーサイドGCの代表選手の皆様(第3位)。

静岡

ブロック

浜松シーサイドゴルフクラブ

最終エントリーで
ミオス菊川が劇的な優勝!

まるでスポットライトを浴びているような
夢のステージでした。

(関東女子倶楽部対抗～報知杯～決勝競技の出場選手)

ロンドンオリンピックでは、日本の女子団体競技の活躍が光った。日の丸を胸に戦うか、倶楽部の名誉を懸けて競うか、世界が関東かの違いはあれ、五輪も女子倶楽部対抗も、目的は同じだろう。

それは、人と人との絆を強めること。関東女子倶楽部対抗～報知杯～決勝競技の開催された姉ヶ崎CCでは、随所で倶楽部間の交歓が見られた。人々の笑顔に溢れていた。

もちろん、参加することに意義ありだが、優勝した倶楽部以外は記憶に残らないのもまた、スポーツの厳しい現実だ。祭典の陰には、ここに登場するような、素晴らしい脇役が数多くいた。



関東女子倶楽部対抗～報知杯～決勝競技の、出場選手は乗用カートが利用できる。観戦ギャラリーは、管理道路か林を歩いている応援が認められている。午前中から気温30度を越える快晴微風の中、歩きは厳しかっただろう。

昨年度優勝の成田東CC。応援団も激増して、連覇に向けて気合いが入っただろう。逆にユニフォームは、チームカラーの黒でシックとまとめている。山本美恵子キャプテン(左)のスタートに緊張は見られないが、ホールアウトした時はマラソンを完走したよう。「全力を出し切りました！」



ティショットを終えて少し緊張から開放され、ここから自分との戦い。



姉ヶ崎CC研修会の皆様。ハーフターンの各選手のスコアチェックだが、これが大変。「第1組から最終組まで約3時間、座って休む間もありません。スコアカードを乗用カートに置く選手も多く、クラブハウスのカート駐車場まで、ダッシュして調べます」と、ホーム倶楽部の応援どころではないとのこと。



2階レストランへの階段を昇った左コーナー、一番便利な場所に女性トイレが新設された。「今回の女子競技に備えてのことですが、今後も女性のお客様に、快適にご利用いただけるでしょう」と、姉ヶ崎CCの吉田信雄常務取締役支配人。

和気あいあい、新潟の4倶楽部は揃って大型バスで遠征。「支配人同士の話し合いですんなり決まりました。経費節約もさることながら、地元の倶楽部同士の交流に、大変有意義でした」(某支配人)。笹神五頭GC(ブルー)、湯田上CC(ピンク)、紫雲GC(オレンジ)で、新津CCは行きのみ利用。今後も各地でシェアが広まると楽しそう。

穂高CCの上條滋子キャプテンは、女子シニア競技の常連選手。「ウェアは自前です。私がこれを(左の出場選手のを)着るわけがないでしょう。負担をかけたくなないので、チームのユニフォームはありません」



本浅間CCの応援団の皆様。「日曜の前泊はお盆の帰省ラッシュに重なり、クラブバスで5時間半かかりました。高原の街・松本も、最近の夏は暑い日がありますよ」と、コース内でもオレンジ軍団が目立っていた。



表彰式が始まるまで、あちこちで記念撮影。彩の森CCチームは、森に映える鮮やかな彩り。「緑のコースで目立つ色を、みんなで作りました。そこからもう、競技が始まっているのです」今年は全体にピンク、オレンジ系が多く、大震災後の昨年よりカラフルに。



前半は上位を走っていた箱根CC。ギャラリーテントに大量の荷物を持ち込んで、ひと際目立つ。競技観戦の楽しみを満喫した後片付けは「荷物専用の運搬車がありますから、手分けすれば簡単に済みます」と、写真のゴミ袋はほんの一部。





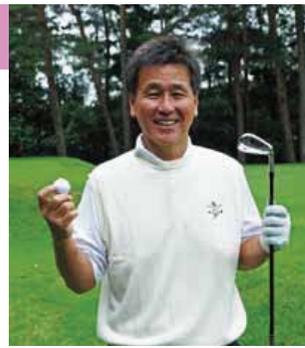
KGAトピックス



ホールインワンおめでとうございます

取 手国際GCの東16番で、ホールインワン達成の小川晃弘君、我孫子G.C.。

「ゴルフ歴40数年で2回目です。」



東16番で達成の小川晃弘君。

す。ナイスショットの手応えはありました。同伴競技者が「ボールが消えた」と言い、確認するまでは半信半疑」
小川君が手放した喜ばないのは、団体戦だったからでしょうか。

「ダブルボギー、ボギーの後の2アンダーです……」
西11番を7番アイアンでホールインワンの島本裕之君は、なんと地元の取手国際



西11番で達成の島本裕之君。

GCの所属。
「ホームコースでは年間50ラウンドほど、ホールインワンはゴルフ人生初めてです」
島本君も半泣き半笑い。

「歴史ある大きな競技で、しかも地元ならではの応援をいただいていた達成です。ホールインワン保険には加入していますが、はたしてどれくらいの持ち出しになるのでしょうか……」



近隣倶楽部となると、野外パーティーのような。当然、出るゴミも半端ではありません。一般的には大型のポリ袋で対応していますが、木更津GCは分別用のゴミ箱を持参。まるで小家族の引越しのような量です。

「現場が必要と思われる家庭用品は、すべて用意しました。荷物専用の運搬車は満杯です」とのこと。

こうした周知な準備と実行は、災害などの非常時の訓練にも応用できそうです。

また野外テントであっても、喫煙コーナーで分煙が守られています。



終日、お疲れさまでした。

赤旗の指示ではない

関 東倶楽部対抗決勝競技の開催された取手国際GCは、開場54年を経た林間コースです。この松林が強敵。「担当した場所、ロストボールになりそうなコースを発見したのは10個でした」とはフォアキャディーさん。

池やOBの場合でも、フォアキャディーは審判ではありません。赤旗を確認してから暫定球を打つ際には「暫定球を打ちます」と、同伴競技者に告げないとペナルティーです。お忘れなく！

グリーン個性を知り立派に育てる！

姉 ケ崎CCの本田宮康グリーニキーパーは、この4月にコース管理課の課長に就任したばかり。

「東・西コースの36ホールが2グリーンですから、72面を管理します。72人の子どもを育てるようなもので、それぞれに違った個性があります」

姉ヶ崎CCで28年、グリーン置かれた地形や地質によつて、個性に適した撒水量



西コースのBグリーンは各種芝の混合で、生育の良さは日頃の手入れで。



創意と工夫の新メニューが月替わり

姉 ケ崎CCのレストランに、関東女子倶楽部對抗・限定スペシャルランチがありまして。

「女性にお楽しみいただけるよう、ひとつの量を少なく、品数は多いワンプレートランチ

などを熟知しているそうです。「毎年、8月上旬までは芝が青々とした状態を保てます。今回の関東女子倶楽部対抗決勝競技は開催が8月20日でしたが、芝ががんばってくれました。開催前の数日、朝の気温が下がったので、扇風機による冷却が効果的でした」

グリーンは、それほど微妙な植物のようです。「ゴルフ場は芝が命、美しいグリーンがあつてのことです。お客様にはご好評をいただいておりますが、異常気象などに備えるには、研究と観察は欠かせません。真夏でも夏バテや日焼けしない、新種の芝を検討中です」

72人の子どもたちは、今日も元気に活動しています。

夜明けから夜までお疲れさまでした

戦 い済んで日が暮れて、6時30分に姉ヶ崎CCのスタッフハウスに戻りました。「朝の3時に起床し、設定～駐車場整理～後片付けと、終日外です」



チを考えました。7、8月の2か月間ですが、昔からの常連の会員様にも、大変好評でした」



ヘルシーな素材をたっぷり盛りつけて、980円はお値打ち。

理長は、アンケートなどによるお客様の声を反映させて、創作料理をつくり出します。

「最近女性客も増えておりますので、季節のサラダだけでも2種をご用意。昼食はサラダのみの方も珍しくありません。逆に、毎週お見えになる多くの常連様たちには、ひと月に2種の新しいメニューをご提供しています」

味とボリュームはサッパリ、あっさりでも、品数は豊富にというのが、最近のトレンドだそうです。

天気予報より正確なのは……

気 象予報士ではありませんが、姉ヶ崎CC常務取締役の吉田信雄支配人は、天気予報の名人です。「個人的な楽しみで、その日の



「自慢するほどではないですが」と、吉田支配人。

「あの入道雲は雷雲に発達する前に潰れます。あの黒雲は遠ざかります。空を見て風を感じるのわかります。本日は快晴！」

天候を推察するだけです。雨雲の流れ、雷雲の発生はほぼわかります。ただし、いつ晴天になるかは難しいですね」
もちろん、陰で下駄を放つたりはしません。気象予報会社とも契約しています。
関東女子倶楽部対抗決勝技の当日、予報では午後から曇りでした。そこで……、「あの入道雲は雷雲に発達する前に潰れます。あの黒雲は遠ざかります。空を見て風を感じるのわかります。本日は快晴！」

スバリ、的中でした。通常は西から東に変化しますが、コース周辺は特殊な気候で、南から北へ動くそうです。

from

Kanto Golf Association

JGA / USGA コースレーティングによる 査定を開始します

平成26年度より導入される、USGAハンディキャップシステムへの移行にともない、JGA / USGAコースレーティングによる査定の準備が整いました。すでに7月30日より受け付けを開始し、9月3日より査定を実施いたします。

査定を希望される倶楽部は、コースレーティング査定指示書をご確認の上、申請いただきますようお願いいたします。詳細はKGAホームページをご参照ください。

●<http://www.kga.gr.jp/upload/topics/597.pdf>

なお、コースレーティング査定指示書にも記載のとおり、査定数値は平成26年度より通知をいたしますので、必ずご確認下さいませようお願いいたします。査定は原則として受け付け順に実施いたしますが、以下の倶楽部より申請があった場合は、優先的に査定いたします。

- ① KGA及びJGA主催競技開催倶楽部。
- ② 平成23年までにJGAコースレーティング15年査定の申請をしている倶楽部。
- ③ 新規加盟でJGAコースレーティングを未取得の倶楽部。
- ④ 査定数値を平成26年度より通知することをご了解頂ける倶楽部。

ご不明な点は、担当の佐藤までお問い合わせ下さい。
●お問合せ先／関東ゴルフ連盟 佐藤 03-6278-0005

平成 25 年度より関東倶楽部対抗の 開催方式が変わります

●各都県別予選競技について

予選競技開催会場の、各都県別の区分は従来どおりです。予選通過倶楽部数は、5倶楽部につき1倶楽部とします。ブロック大会、決勝競技開催倶楽部は、都県予選を免除します。前年度、決勝競技上位3～20位までの倶楽部は、都県予選を免除します。

●ブロック大会について

ブロック大会を新設し、5ブロックで開催致します。

●決勝競技について

決勝競技への通過倶楽部数は、ブロック大会5倶楽部につき1倶楽部とします。決勝競技開催倶楽部は、予選競技、ブロック大会を免除します。前年度、決勝競技上位2位までの倶楽部は、ブロック大会を免除します。

KGAGOLFER'S NEWS

110

平成24年9月25日発行
KGA GOLFER'S NEWS No.110

発行所／関東ゴルフ連盟
〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号
銀座SCビル4階
TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008

ウェブサイト www.kga.gr.jp

発行人／竹田恒正 編集／広報委員会

KGA committee

関根洋治 競技委員(大洗GC)
練習しても、痛くならない体
にして欲しい。



萩原謙二郎 競技委員(セントラルGC)
必ず入るパターが欲しいです。



星野正治 競技委員(武蔵野GC)
グリーンに乗ったら必ず1パット。



増田純男 競技委員(那須GC)
ナビ付きのボール。



松本 肇 競技委員(武蔵CC)
毎回とは言いません。時々で結構で
す。300㌔のビッグショットを下さい。



矢作定雄 競技委員(龍ヶ崎CC)
3メートル以内が入るパター。



編集後記

先のロンドン五輪は、テレビ中継が深夜から早朝だったため、家人が寝静まったのをこれ幸い、日本チームの大活躍に涙が止まりませんでした。テレビ画面に向かって拍手を送るなど、心地良い興奮でした。スポーツの力は、オリンピックに限ったことではありません。関東倶楽部対抗、関東女子倶楽部対抗～報知杯～では、茨城ブロック予選競技の大会会長を仰せつかり、及ばずながら微力を尽くすことができました。表彰の際、選手の感動が伝わり、胸が熱くなったこともあります。そんな感動をこの1冊にまとめました。お楽しみいただければ幸いです。

(KGA広報委員会委員長 塚原 裕)



小池 浩 競技委員(飯能GC)
物忘れが多くなったので、600ページを超える
裁定集を全部覚えて、忘れない記憶力が
欲しいです。



児島幸雄 競技委員(富士小山GC)
2㌔のパッティングが、90%
入るように！



三宮勇雄 競技委員(柏崎黒姫CC)
競技会ではトラブルが発生した場合、すぐ
に条文が出るように。プレーでは目の衰え
があり、良く見えるように(欲張り)。



鈴木 淳 競技委員(東京GC)
400㌔とは言いません。350㌔飛ぶドライ
バーを1本お願いします。できれば誰にも秘
密で、朝起きた時の枕元に……。



競技委員

内藤正幸 競技委員長(桜ヶ丘CC)
グリーン上で、どこからでも入るパ
ターをください。車のトランクに入れて
おいてください。



岩田淳子 競技副委員長(横浜CC)
学生時代から210㌔がMAX！「神様、250
㌔のビッグドライブをお願いします」そして
日本女子オープンに出場させて下さい！



竹村 孝 競技副委員長(春日居GC)
永遠の健康をお願いしたいで
す。



豊泉幸夫 競技副委員長(狭山GC)
ゴルフの楽しさ、難しさは充分味わいま
した。お願いですから、死ぬまで飛距離を落
とさないでください。



三浦勝夫 競技副委員長
(朝霧ジャンボリーGC)
ゴルフの神様ってなんだろう？ 願いが叶
うなら、俺が神様になりたいぜえ～。



滝口史男 競技委員(取手国際GC)
エイジシュートをこの先、毎年達成で
きるレベルアップと、健康維持をお願
いしたい。



安孫子久幸 競技委員(京葉CC)
KGA主催競技や倶楽部競技など、公
式な競技でエイジシュートを達成する
こと。



伊藤 誠 競技委員(嵐山CC)
プロゴルファーの友人を、マスタ
ーズで優勝させて下さい。



大木 隆 競技委員(美里GC)
すべてのプレーヤーが、それまで積み重ね
てきた練習の成果を、競技会の中で出させ
てもらえるようにお願いしたいです。



スター
星は輝きを失わない
ONでもOFFでも

昨年5月末に本誌2011年夏号で、松山英樹君をインタビューした。4月開催のマスターズで、日本人初のローアマ(アマチュア選手)の最高順位)を獲得したばかりとあって、さぞかし人気者と思いきや……。

「ゴルフファターの集まる練習場へでも行かなければ、ボクのことには誰も知りません」

確かに、取材した東北福祉大学のキャンパスを歩いてみても、すれ違う学生たちはまったく無関心だった。取材から1年後の松山君は、いま、どうしているのだろう。ファンに求められるサインを、すらすらと書けるようになったらどうか。

逆に、あるトッププロと仕事を終えての帰路、空港の雑踏でその人気者に注がれる、無数の視線を感じた。隣りを歩きながらも、強烈なパワーが伝わってきた。

「ただ歩くだけでも、疲れますね」

ジョークのつもりだったが、プロは「毎日のことよ」と、真面目な顔で応えた。ゴルフアにに限らずトップアスリートたちは、重い荷物を持って世界各地を転戦し、オフであっても有名人として群衆の声援に応えている。オンの試合となれば過酷な戦いに、全能力を結集して挑んでいる。

人から注目されるエネルギーを受け止めて、それを感動というカタチで人々に与えるのが、スターという存在なのだろう。

★

では、選ばれた特殊な能力を持つ人だけがスターなのか？ 関東女子倶楽部対抗のこと。前半の大叩きを後半で挽回し、表彰式で大泣きしたあなた。チームが失格しないために、痙攣する脚でホールアウトしたあなた。あまりの緊張に、膝が震えていたあなた。あなたこそスターなんだ！ 絶えず自分自身で発光し、周囲の人を明るく照らしていたじゃないか。



朝一番の光。空の星が消えて地上にスターが登場する……。